

へきなん地域福祉ハッピープラン
策定に関するアンケート調査
【結果報告書】

令和2年9月

碧 南 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の実施概要	2
3	報告書の見方	3
II	市民アンケート 調査結果	5
1	回答者の属性について	6
2	地域との関わりや地域活動等について	12
3	福祉について	23
4	日常生活の中の課題について	34
5	地域の助けあいについて	44
6	災害時のことについて	55
7	福祉のまちづくりについて	62
8	その他・自由意見	71

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「へきなん地域福祉ハッピープラン」を改定するにあたり、市民の地域福祉に関する意識や実態を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として実施しました。

2 調査の実施概要

(1)調査方法

- ・調査対象者 : 令和2年5月1日時点の18歳以上の市民1,000人
- ・調査期間 : 令和2年5月22日から6月4日まで
- ・調査方法 : 郵送配布・郵送回収。調査票による本人記入方式

(2)回収結果

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
市民アンケート	1,000	474	47.4%

3 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表します。従って、各選択肢の%に「N」を乗じることで、その選択肢の回答者数が算出できます。

●「%」について

回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。そのため、単数回答と同様、合計が100.0%とならない場合があります。

●「不明・無回答」について

回答がない、または回答の判別が困難なものです。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●クロス集計表について

表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と二番目に割合の高い項目で表しています。なお、集計対象者総数(N)が10未満の場合は順位づけを省略し、読取文の対象外とします。

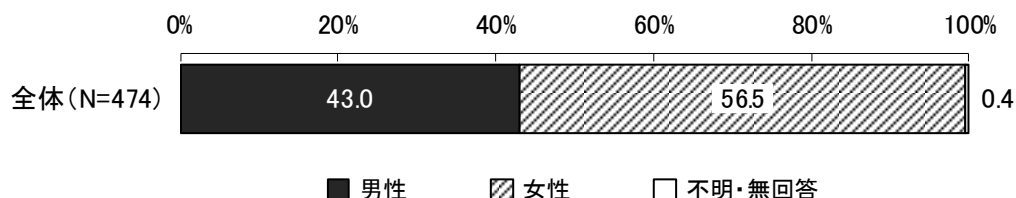
クロス集計表の表側（左端の分類層）は「不明・無回答」を除いているため、各層の実数と集計対象の総数が一致しないことがあります。

Ⅱ 市民アンケート 調査結果

1 回答者の属性について

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

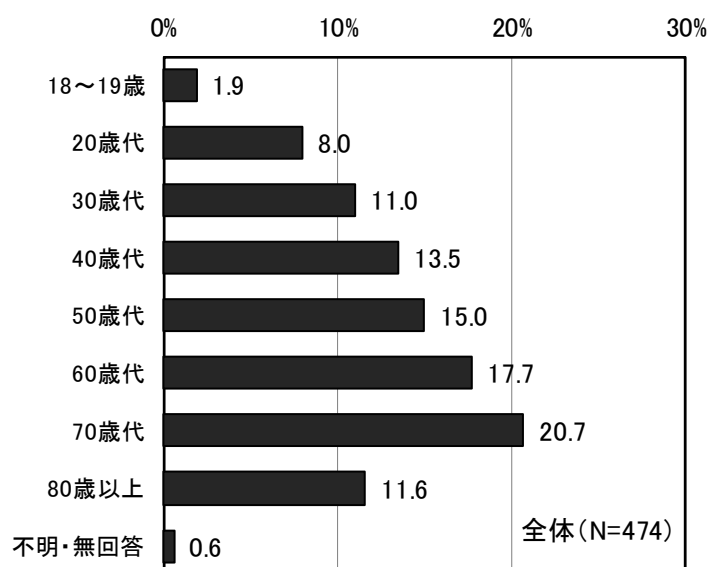
全体では、「男性」が43.0%、「女性」が56.5%となっています。



問2 あなたの年齢を教えてください。（令和2年5月1日現在）（数字を記入）

全体では、「70歳代」が20.7%と最も高く、次いで「60歳代」が17.7%、「50歳代」が15.0%となっています。

地区別で見ると、旭地区で「40歳代」、西端地区で「50歳代」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

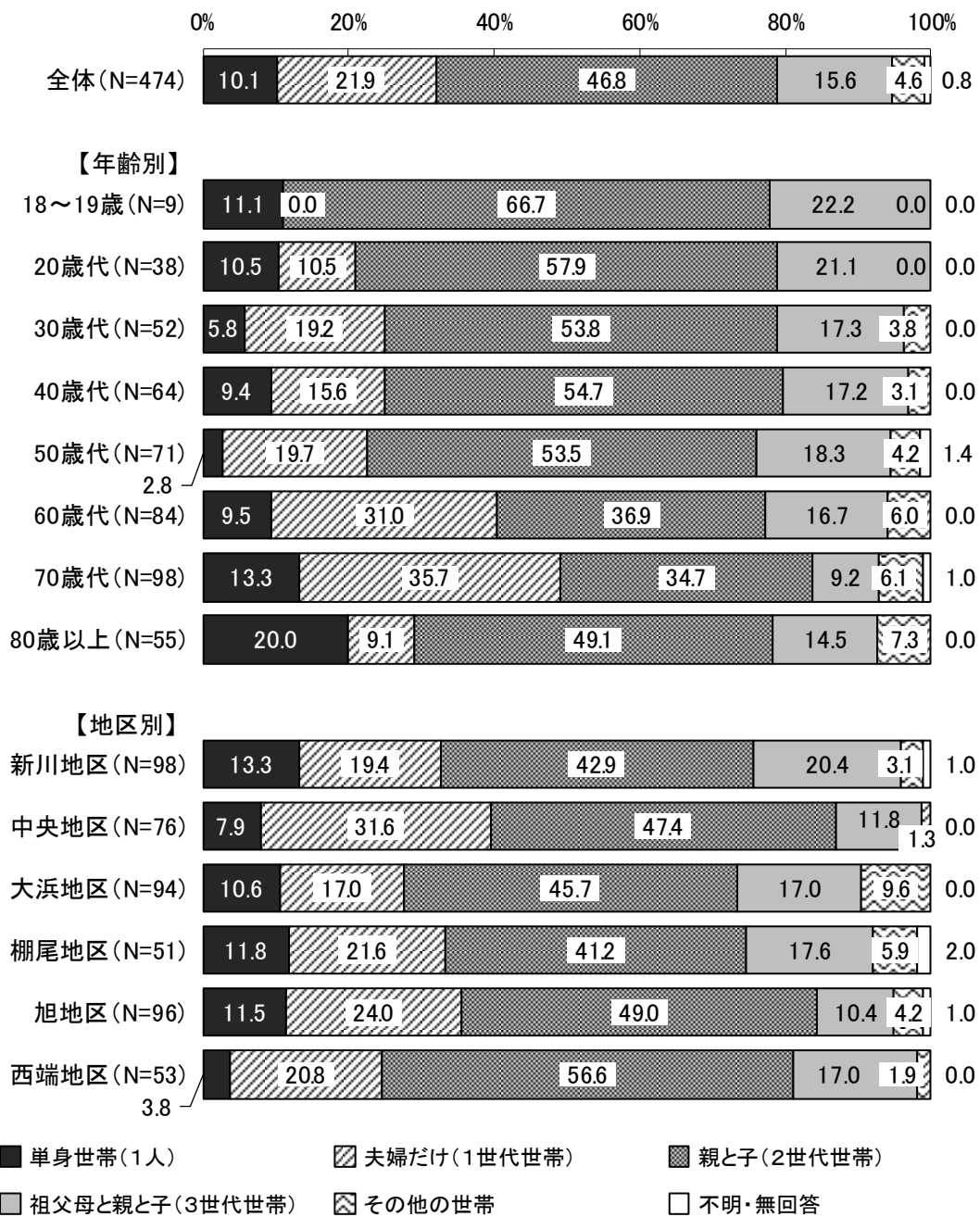
区分	N=	18 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	不明・無回答
【地区別】										
新川地区	98	1.0	8.2	8.2	12.2	11.2	19.4	22.4	17.3	17.3
中央地区	76	5.3	7.9	15.8	7.9	18.4	18.4	17.1	9.2	9.2
大浜地区	94	4.3	11.7	10.6	13.8	10.6	21.3	20.2	6.4	6.4
棚尾地区	51	0.0	5.9	13.7	13.7	13.7	19.6	21.6	11.8	11.8
旭地区	96	0.0	4.2	11.5	20.8	13.5	17.7	20.8	10.4	10.4
西端地区	53	0.0	9.4	3.8	11.3	30.2	7.5	22.6	15.1	15.1

問3 あなたの家族構成を教えてください。（○は1つだけ）

全体では、「親と子（2世代世帯）」が46.8%と最も高く、次いで「夫婦だけ（1世代世帯）」が21.9%、「祖父母と親と子（3世代世帯）」が15.6%となっています。

年齢別で見ると、60歳代及び70歳代で「夫婦だけ（1世代世帯）」、80歳以上で「単身世帯（1人）」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、新川地区で「単身世帯（1人）」「祖父母と親と子（3世代世帯）」、中央地区で「夫婦だけ（1世代世帯）」、西端地区で「親と子（2世代世帯）」が、他の地区と比べて高くなっています。

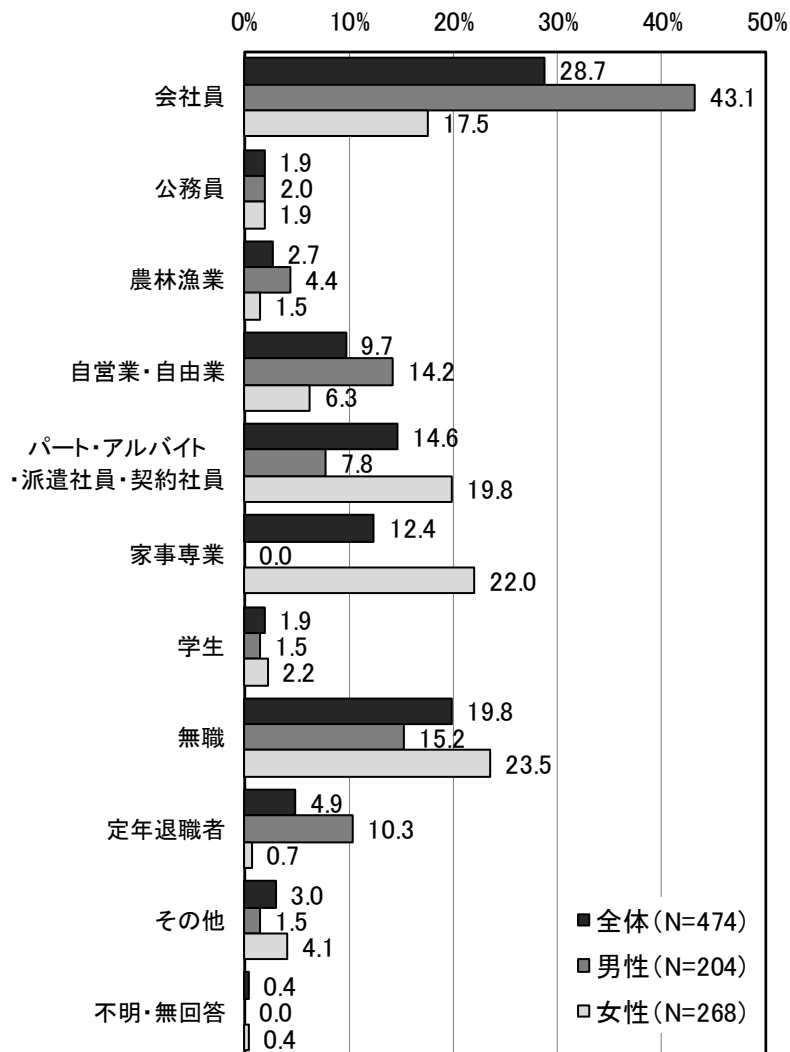


問4 あなたの職業を教えてください。(〇は1つだけ)

全体では、「会社員」が28.7%と最も高く、次いで「無職」が19.8%、「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員」が14.6%となっています。

性別でみると、男性で「会社員」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員」「家事専業」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、20～40歳代で「会社員」、70歳以上で「無職」が、他の年齢と比べて高くなっています。



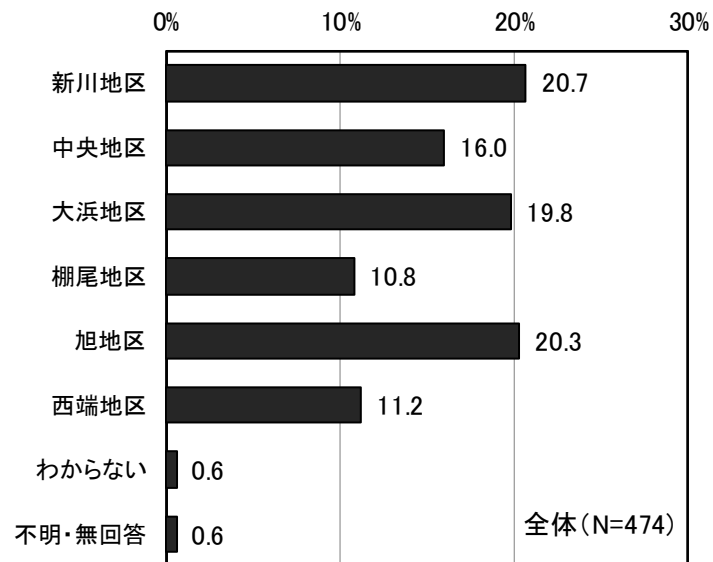
■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	会社員	公務員	農林漁業	自営業・自由業	パート・アルバイト ・派遣社員・契約社員	家事専業	学生	無職	定年退職者
【年齢別】										
18～19 歳	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
20 歳代	38	63.2	5.3	0.0	0.0	10.5	7.9	7.9	2.6	0.0
30 歳代	52	46.2	7.7	1.9	1.9	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0
40 歳代	64	48.4	0.0	0.0	9.4	31.3	6.3	0.0	3.1	0.0
50 歳代	71	43.7	2.8	5.6	7.0	16.9	14.1	0.0	5.6	0.0
60 歳代	84	25.0	1.2	4.8	21.4	10.7	14.3	0.0	10.7	9.5
70 歳代	98	2.0	0.0	2.0	9.2	11.2	18.4	0.0	45.9	10.2
80 歳以上	55	0.0	0.0	3.6	12.7	1.8	5.5	0.0	60.0	9.1

区分	N=	その他	不明・無回答
【年齢別】			
18～19 歳	9	0.0	0.0
20 歳代	38	2.6	0.0
30 歳代	52	3.8	0.0
40 歳代	64	0.0	1.6
50 歳代	71	4.2	0.0
60 歳代	84	2.4	0.0
70 歳代	98	1.0	0.0
80 歳以上	55	7.3	0.0

問5 あなたのお住まいは、どの地区にありますか。(〇は1つだけ)

全体では、「新川地区」が20.7%と最も高く、次いで「旭地区」が20.3%、「大浜地区」が19.8%となっています。



2 地域との関わりや地域活動等について

問6 あなたは、現在、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。最もあてはまるものをお選びください。（○は1つだけ）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『親しく付き合っている』 …「困ったときにお互いに助け合える程度」と「お互いに訪問し合う程度」の合算

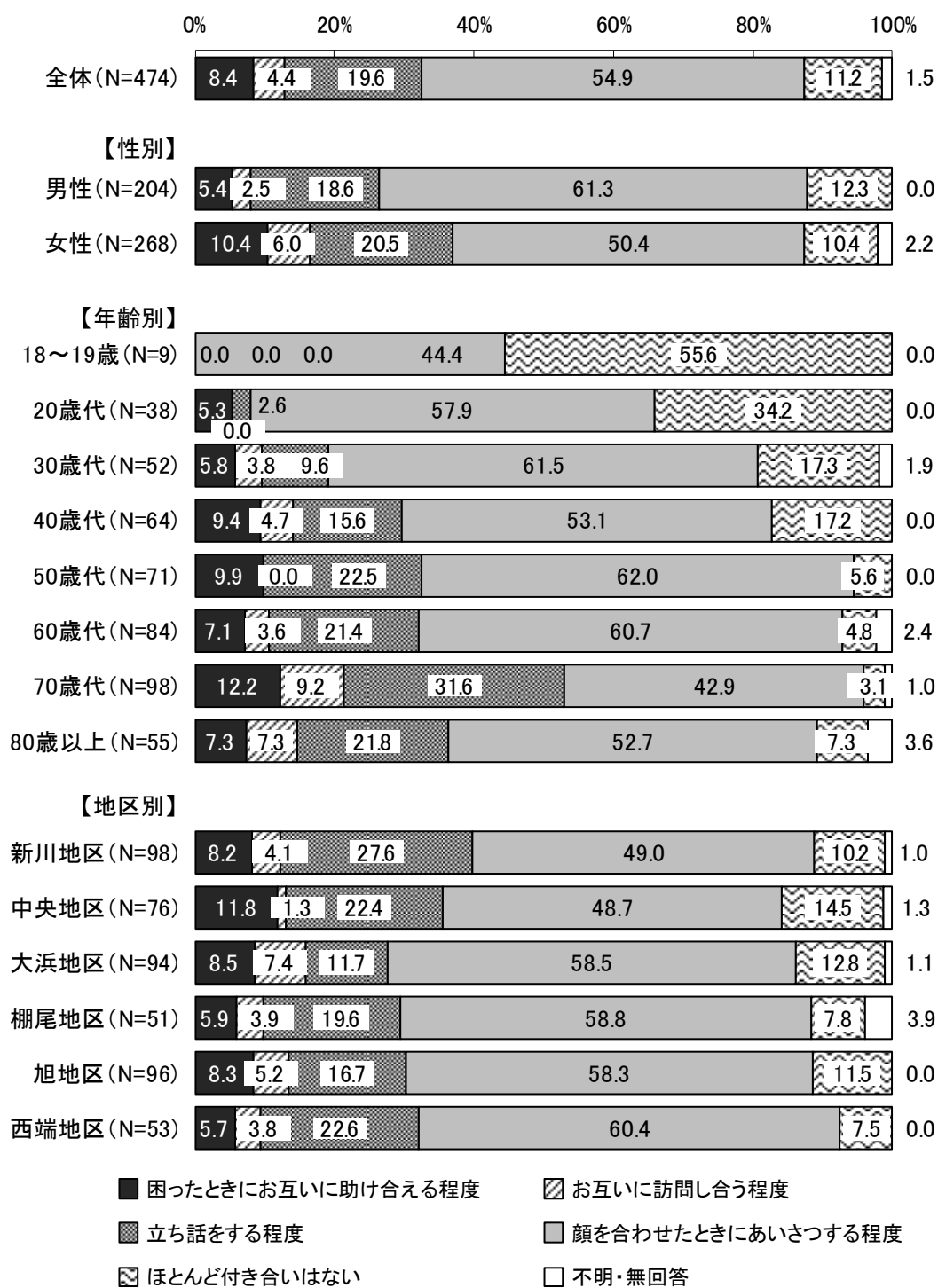
全体では、「顔を合わせたときにあいさつする程度」が54.9%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」が19.6%、「ほとんど付き合いはない」が11.2%となっています。

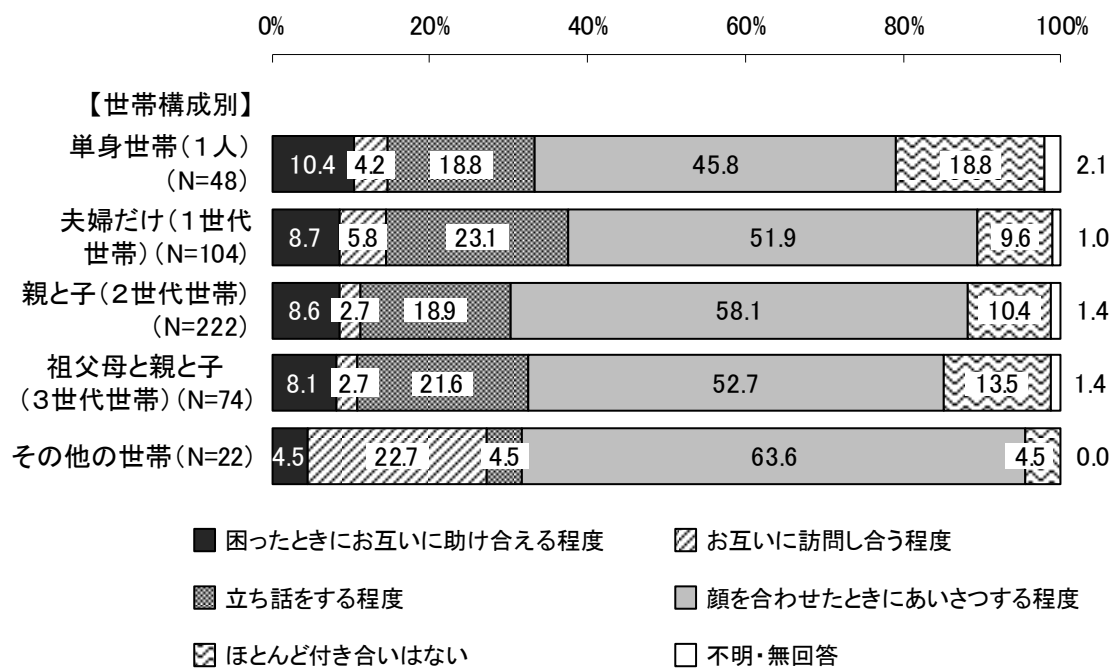
性別でみると、女性で『親しく付き合っている』が16.4%と、男性と比べて8.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70歳代で『親しく付き合っている』が21.4%と、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、中央地区で「困ったときにお互いに助け合える程度」と「ほとんど付き合いはない」が他の地区と比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、単身世帯（1人）で「ほとんど付き合いはない」が18.8%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。





問7 あなたが今後参加したい地域活動は何ですか。（現在参加していて継続して参加したいものを含みます）（あてはまるものすべてに○）

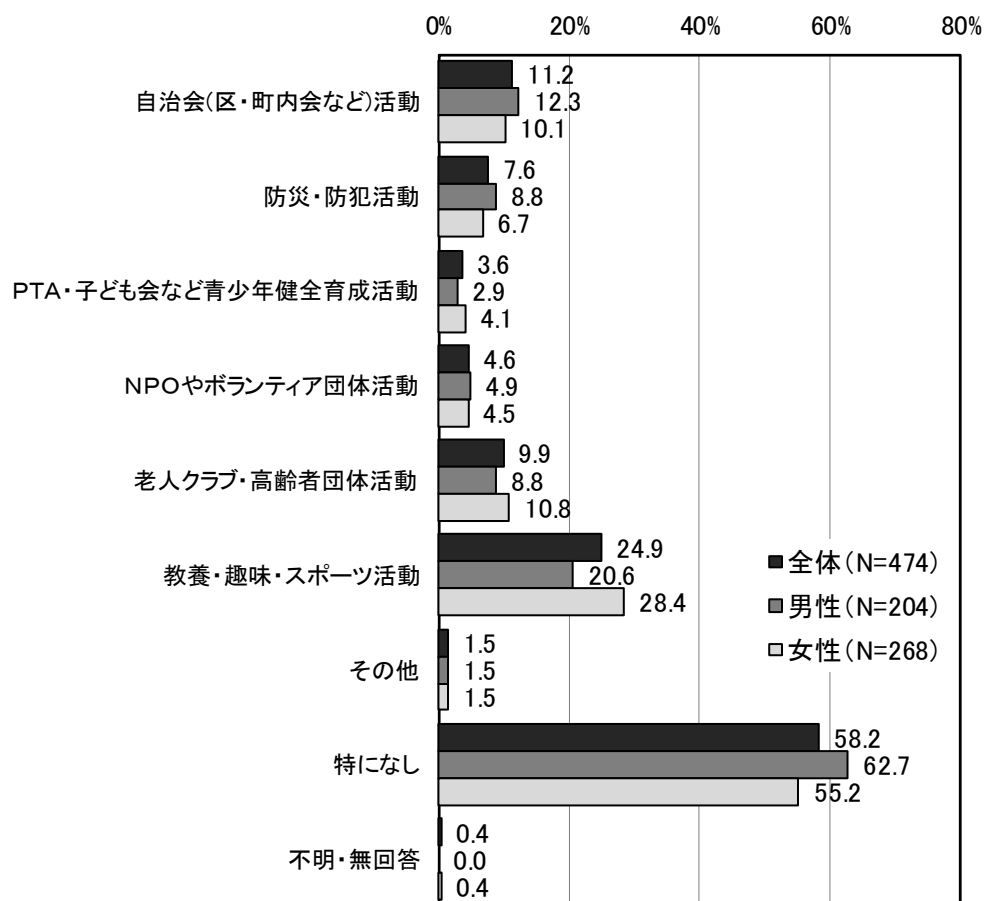
全体では、「特になし」が58.2%と最も高く、次いで「教養・趣味・スポーツ活動」が24.9%、「自治会(区・町内会など)活動」が11.2%となっています。

性別でみると、女性で「教養・趣味・スポーツ活動」が28.4%と、男性と比べて7.8ポイント高くなっています。一方、男性では「特になし」が62.7%と、女性と比べて7.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で「NPOやボランティア団体活動」「特になし」、30歳代で「自治会(区・町内会など)活動」、70歳以上で「老人クラブ・高齢者団体活動」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、旭地区で「教養・趣味・スポーツ活動」「自治会(区・町内会など)活動」が、他の地区と比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、単身世帯(1人)で「老人クラブ・高齢者団体活動」が20.8%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	自治会(区・町内会など)活動	防災・防犯活動	PTA・子ども会など 青少年健全育成活動	NPOやボランティア 団体活動	老人クラブ・高齢者団 体活動	教養・趣味・スポーツ 活動	その他	特になし	不明・無回答
【年齢別】										
18～19歳	9	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	77.8	0.0
20歳代	38	5.3	7.9	2.6	10.5	0.0	15.8	0.0	71.1	0.0
30歳代	52	19.2	15.4	9.6	3.8	0.0	26.9	0.0	48.1	0.0
40歳代	64	9.4	7.8	7.8	3.1	1.6	25.0	1.6	57.8	0.0
50歳代	71	8.5	11.3	1.4	8.5	4.2	28.2	1.4	59.2	0.0
60歳代	84	13.1	3.6	2.4	6.0	4.8	28.6	0.0	59.5	0.0
70歳代	98	14.3	7.1	3.1	2.0	27.6	27.6	3.1	52.0	1.0
80歳以上	55	5.5	1.8	0.0	0.0	21.8	16.4	3.6	67.3	0.0
【地区別】										
新川地区	98	12.2	7.1	2.0	6.1	14.3	25.5	2.0	57.1	1.0
中央地区	76	3.9	9.2	5.3	5.3	7.9	23.7	0.0	65.8	0.0
大浜地区	94	11.7	4.3	3.2	4.3	6.4	18.1	1.1	64.9	0.0
棚尾地区	51	9.8	9.8	5.9	2.0	9.8	25.5	2.0	58.8	0.0
旭地区	96	19.8	11.5	4.2	5.2	10.4	35.4	3.1	42.7	0.0
西端地区	53	5.7	1.9	1.9	3.8	11.3	20.8	0.0	64.2	0.0
【世帯構成別】										
単身世帯(1人)	48	12.5	4.2	2.1	6.3	20.8	16.7	2.1	60.4	0.0
夫婦だけ (1世代世帯)	104	11.5	10.6	2.9	2.9	10.6	29.8	2.9	59.6	0.0
親と子 (2世代世帯)	222	12.6	6.8	3.2	5.4	6.8	25.2	0.9	57.7	0.0
祖父母と親と子 (3世代世帯)	74	6.8	8.1	8.1	4.1	12.2	20.3	1.4	58.1	0.0
その他の世帯	22	9.1	4.5	0.0	4.5	9.1	27.3	0.0	59.1	4.5

<問7で「1～7」と答えた方（何らかの地域活動に参加したい方）のみ>

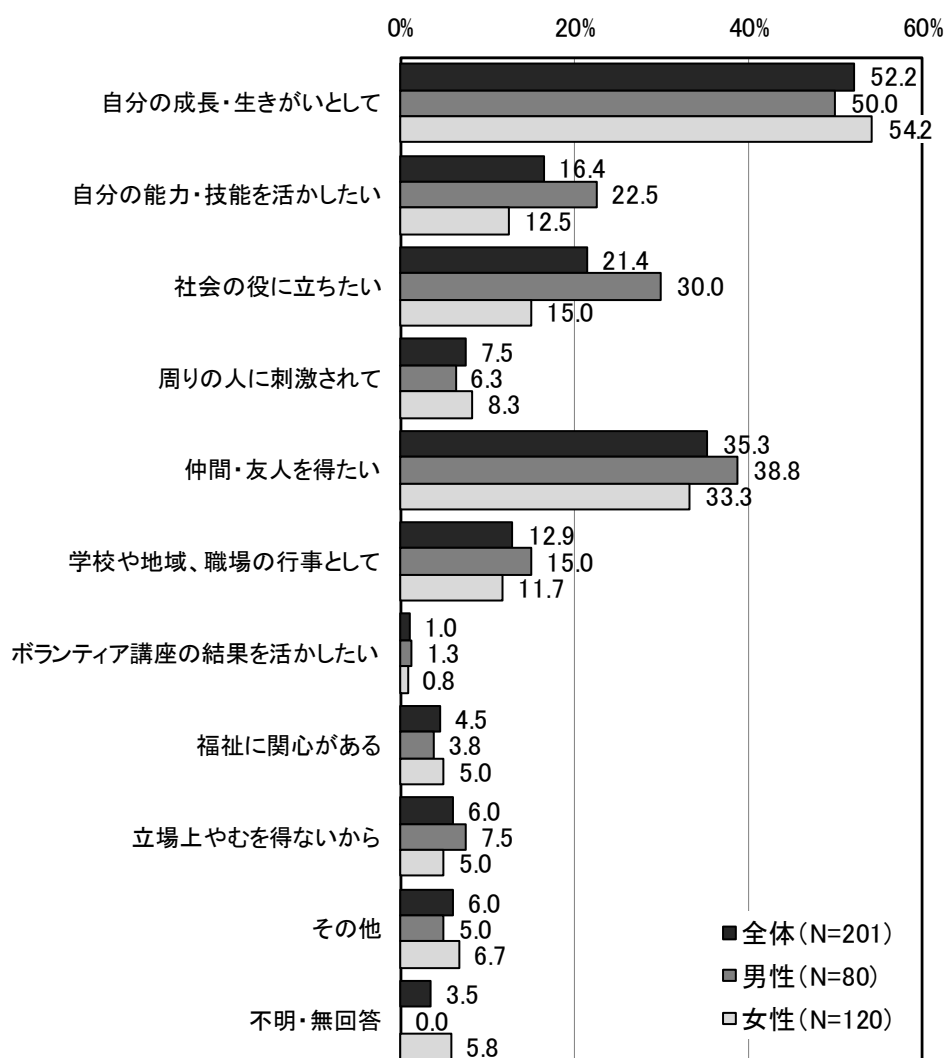
問8 地域活動をする動機はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「自分の成長・生きがいとして」が52.2%と最も高く、次いで「仲間・友人を得たい」が35.3%、「社会の役に立ちたい」が21.4%となっています。

性別でみると、男性で「社会の役に立ちたい」が30.0%と、女性と比べて15.0ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20～40歳代で「学校や地域、職場の行事として」、50歳代で「自分の成長・生きがいとして」「社会の役に立ちたい」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、西端地区及び大浜地区で「仲間・友人を得たい」がそれぞれ50.0%、47.1%と、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	自分の成長・生きが いとして	自分の能力・技能を 活かしたい	自分の能力・技能を 活かしたい	社会の役に立ちたい	周りの人に刺激され て	仲間・友人を得たい	学校や地域、職場の 行事として	ボランティア講座の 結果を活かしたい	福祉に関心がある	立场上やむを得ない から	その他	不明・無回答
【年齢別】													
18～19 歳	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 歳代	11	45.5	27.3	18.2	9.1	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
30 歳代	27	44.4	3.7	22.2	3.7	29.6	25.9	0.0	0.0	7.4	14.8	0.0	0.0
40 歳代	28	35.7	14.3	21.4	7.1	32.1	28.6	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
50 歳代	29	79.3	20.7	31.0	0.0	27.6	3.4	3.4	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0
60 歳代	34	52.9	23.5	23.5	2.9	47.1	8.8	0.0	5.9	2.9	0.0	2.9	2.9
70 歳代	49	55.1	12.2	16.3	18.4	38.8	8.2	0.0	6.1	6.1	8.2	10.2	10.2
80 歳以上	19	36.8	26.3	10.5	5.3	42.1	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	5.3
【地区別】													
新川地区	43	60.5	27.9	25.6	9.3	30.2	11.6	0.0	0.0	7.0	4.7	2.3	2.3
中央地区	27	55.6	18.5	22.2	0.0	18.5	7.4	0.0	11.1	3.7	0.0	7.4	7.4
大浜地区	34	38.2	14.7	20.6	5.9	47.1	11.8	0.0	2.9	11.8	11.8	2.9	2.9
棚尾地区	21	66.7	14.3	23.8	9.5	33.3	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8
旭地区	55	47.3	7.3	18.2	9.1	36.4	18.2	1.8	5.5	5.5	9.1	3.6	3.6
西端地区	20	55.0	20.0	15.0	10.0	50.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0

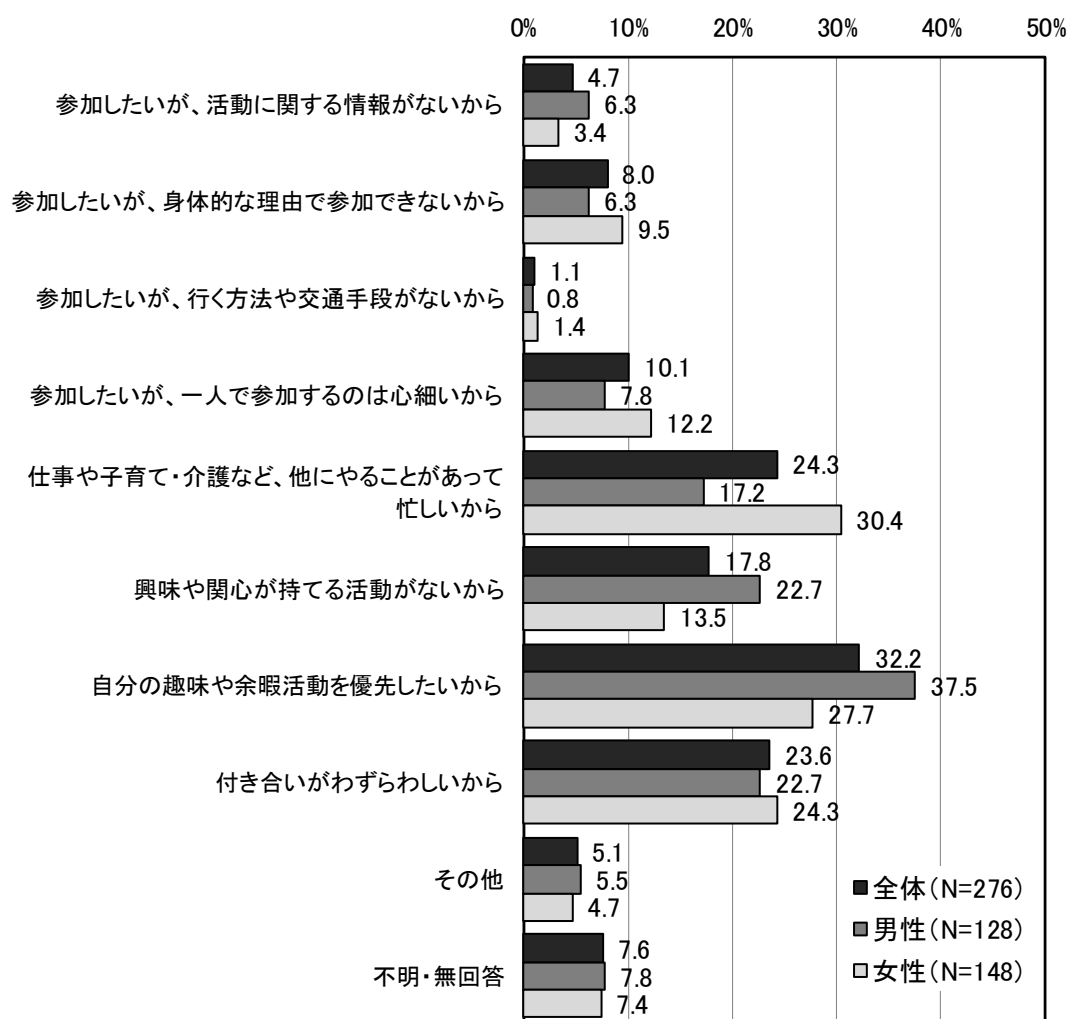
問9 活動に参加しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「自分の趣味や余暇活動を優先したいから」が32.2%と最も高く、次いで「仕事や子育て・介護など、他にやることがあって忙しいから」が24.3%、「付き合いがわずらわしいから」が23.6%となっています。

性別でみると、女性で「仕事や子育て・介護など、他にやることがあって忙しいから」が男性と比べて高くなっています。一方、男性では「自分の趣味や余暇活動を優先したいから」「興味や関心が持てる活動がないから」が女性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、30歳代及び40歳代で「仕事や子育て・介護など、他にやることがあって忙しいから」、50歳代で「興味や関心が持てる活動がないから」、80歳以上で「参加したいが、身体的な理由で参加できないから」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、棚尾地区で「興味や関心が持てる活動がないから」が30.0%と、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	参加したいが、活動に関する情報がないから	参加したいが、身体的な理由で参加できないから	参加したいが、行く方法や交通手段がないから	参加したいが、一人で参加するのは心細いから	仕事や子育て・介護など、他にやることであって忙しいから	興味や関心が持てる活動がないから	自分の趣味や余暇活動を優先したいから	付き合いがわずらわしいから	その他	不明・無回答
【年齢別】											
18～19歳	7	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
20歳代	27	11.1	0.0	0.0	14.8	33.3	14.8	40.7	22.2	0.0	7.4
30歳代	25	4.0	4.0	0.0	12.0	56.0	24.0	32.0	20.0	0.0	4.0
40歳代	37	5.4	0.0	2.7	2.7	51.4	21.6	40.5	27.0	0.0	0.0
50歳代	42	2.4	2.4	0.0	7.1	23.8	28.6	42.9	33.3	7.1	0.0
60歳代	50	6.0	4.0	0.0	12.0	16.0	16.0	34.0	24.0	8.0	10.0
70歳代	51	5.9	9.8	2.0	15.7	5.9	11.8	27.5	25.5	3.9	11.8
80歳以上	37	0.0	35.1	2.7	5.4	5.4	10.8	13.5	10.8	10.8	18.9
【地区別】											
新川地区	56	10.7	10.7	1.8	10.7	28.6	14.3	30.4	23.2	5.4	14.3
中央地区	50	4.0	8.0	2.0	8.0	28.0	10.0	30.0	20.0	4.0	10.0
大浜地区	61	4.9	11.5	0.0	9.8	23.0	21.3	31.1	24.6	4.9	0.0
棚尾地区	30	0.0	10.0	0.0	10.0	26.7	30.0	36.7	23.3	6.7	6.7
旭地区	41	0.0	2.4	2.4	9.8	19.5	14.6	36.6	22.0	4.9	9.8
西端地区	34	2.9	2.9	0.0	14.7	17.6	20.6	35.3	29.4	5.9	0.0

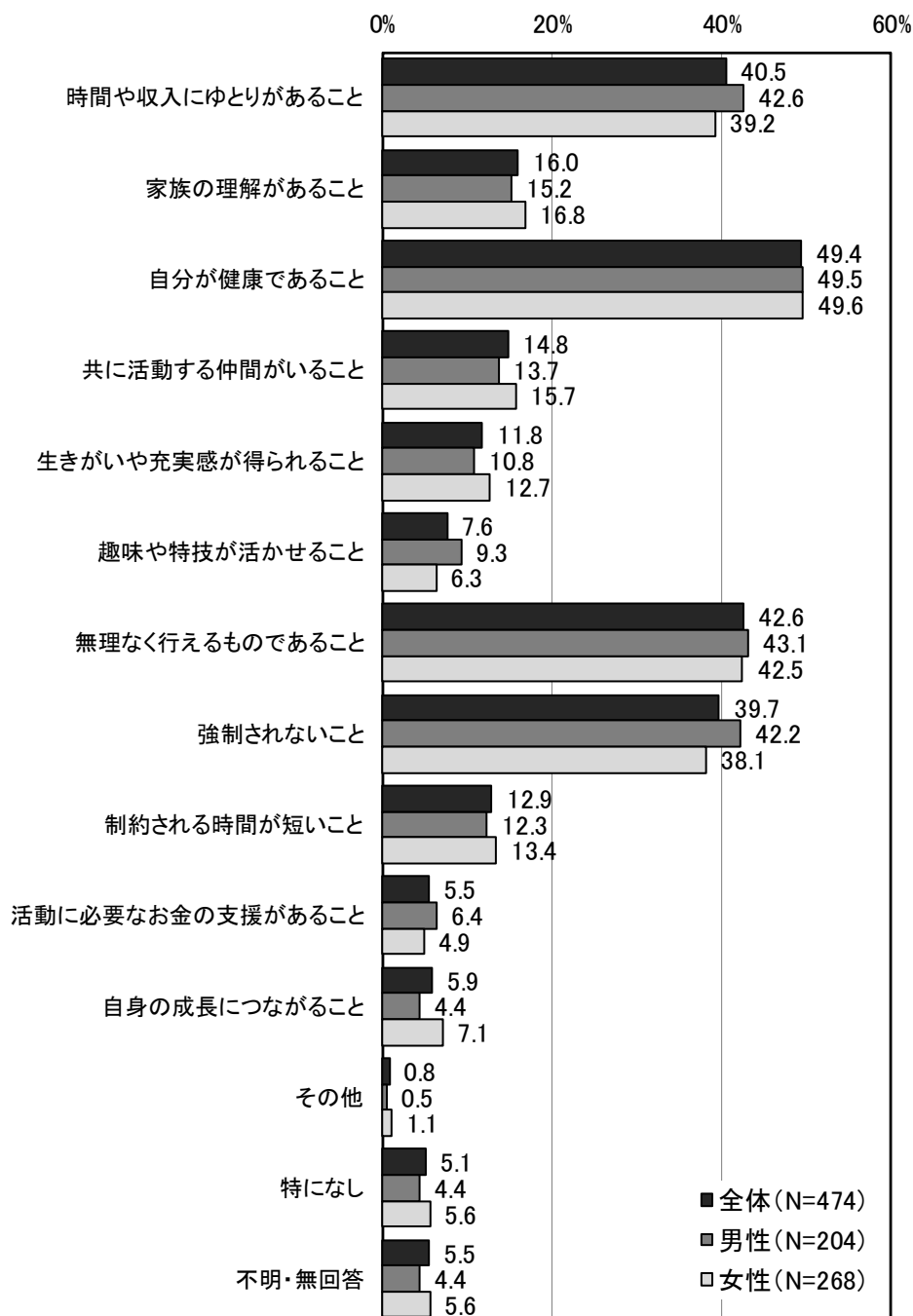
問10 地域活動やボランティアに参加するためには、どのような条件が整っていることが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「自分が健康であること」が49.4%と最も高く、次いで「無理なく行えるものであること」が42.6%、「時間や収入にゆとりがあること」が40.5%となっています。

性別でみると、男女ともに大差はみられません。

年齢別でみると、30歳代で「強制されないこと」「時間や収入にゆとりがあること」、40歳代で「時間や収入にゆとりがあること」、60歳以上で「自分が健康であること」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、新川地区で「時間や収入にゆとりがあること」、中央地区及び西端地区で「無理なく行えるものであること」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	時間や収入にゆとりがあること	家族の理解があること	自分が健康であること	共に活動する仲間がいること	生きがいや充実感が得られること	趣味や特技が活かせること	無理なく行えるものであること	強制されないこと	制約される時間が短いこと	活動に必要なお金の支援があること
【年齢別】											
18～19歳	9	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	88.9	33.3	22.2
20歳代	38	44.7	2.6	15.8	23.7	10.5	15.8	55.3	50.0	18.4	5.3
30歳代	52	57.7	23.1	21.2	11.5	7.7	1.9	51.9	61.5	21.2	5.8
40歳代	64	59.4	7.8	35.9	18.8	10.9	10.9	50.0	45.3	21.9	7.8
50歳代	71	47.9	16.9	49.3	14.1	16.9	4.2	47.9	35.2	16.9	5.6
60歳代	84	45.2	25.0	64.3	9.5	16.7	4.8	42.9	28.6	9.5	8.3
70歳代	98	16.3	15.3	68.4	19.4	5.1	11.2	33.7	39.8	4.1	2.0
80歳以上	55	23.6	18.2	67.3	9.1	18.2	7.3	29.1	18.2	3.6	0.0
【地区別】											
新川地区	98	48.0	14.3	51.0	19.4	14.3	8.2	43.9	35.7	15.3	3.1
中央地区	76	43.4	18.4	47.4	23.7	13.2	7.9	47.4	39.5	11.8	5.3
大浜地区	94	40.4	20.2	44.7	11.7	10.6	8.5	35.1	45.7	11.7	12.8
棚尾地区	51	31.4	13.7	52.9	13.7	13.7	5.9	41.2	41.2	7.8	2.0
旭地区	96	38.5	17.7	54.2	10.4	6.3	7.3	44.8	34.4	11.5	4.2
西端地区	53	37.7	9.4	47.2	9.4	17.0	7.5	49.1	45.3	18.9	1.9

区分	N=	自身の成長につながる事	その他	特になし	不明・無回答
【年齢別】					
18～19歳	9	11.1	0.0	0.0	0.0
20歳代	38	5.3	2.6	0.0	5.3
30歳代	52	7.7	0.0	1.9	3.8
40歳代	64	4.7	1.6	1.6	0.0
50歳代	71	5.6	0.0	4.2	2.8
60歳代	84	4.8	1.2	3.6	4.8
70歳代	98	7.1	0.0	9.2	7.1
80歳以上	55	5.5	1.8	12.7	14.5
【地区別】					
新川地区	98	6.1	2.0	2.0	6.1
中央地区	76	7.9	1.3	3.9	2.6
大浜地区	94	3.2	1.1	7.4	2.1
棚尾地区	51	9.8	0.0	7.8	7.8
旭地区	96	7.3	0.0	6.3	6.3
西端地区	53	1.9	0.0	1.9	7.5

3 福祉について

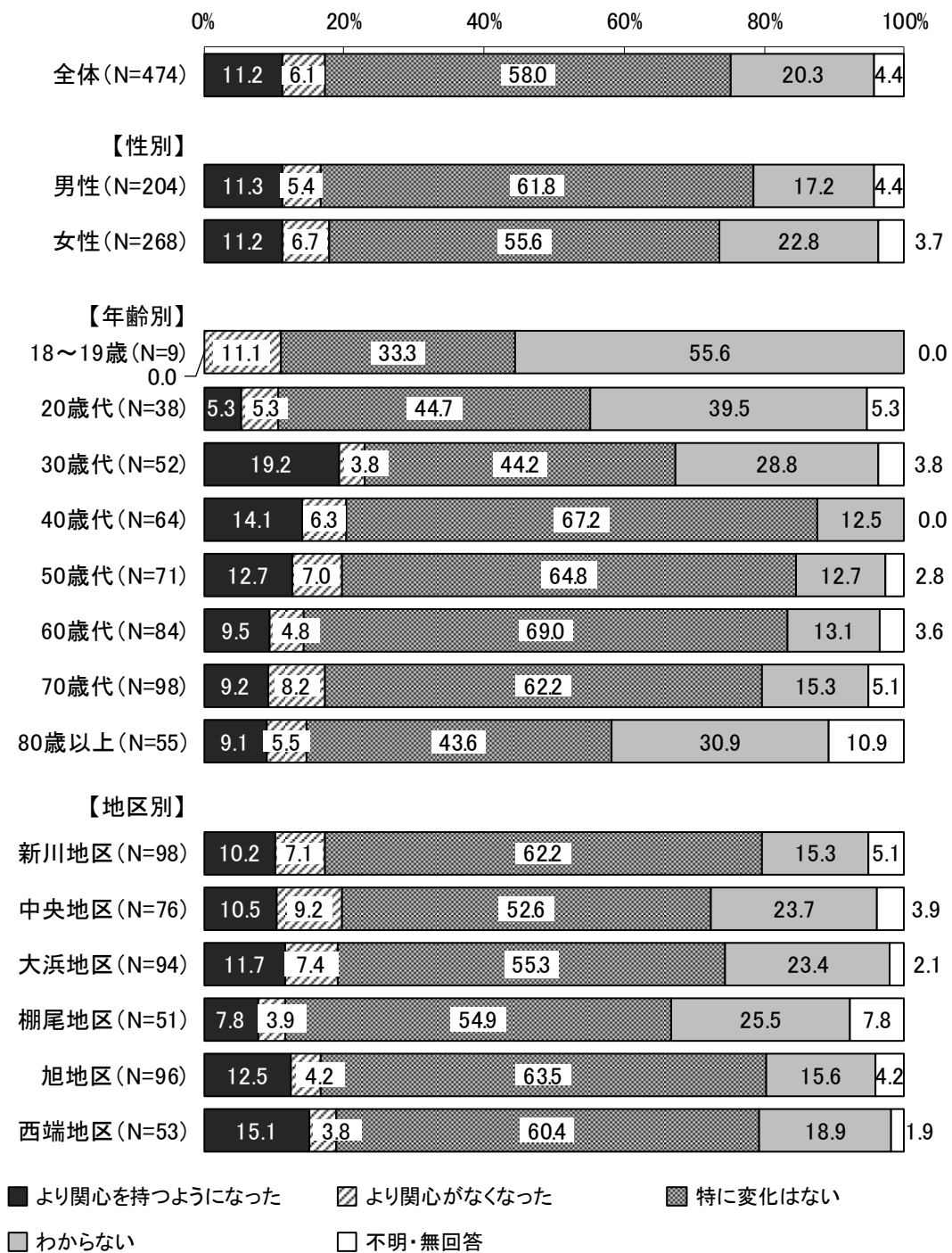
問11 あなたの地域の行事や活動についての関心は、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は1つだけ）

全体では、「特に変化はない」が58.0%と最も高く、次いで「わからない」が20.3%、「より関心を持つようになった」が11.2%となっています。

性別でみると、男女ともに大差はみられません。

年齢別でみると、20歳代、30歳代及び80歳以上で「わからない」、また、30歳代では「より関心を持つようになった」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、いずれの地区でも大差はみられません。



問12 福祉分野について、関心があるのはどのようなことについてですか。（あてはまるものすべてに○）

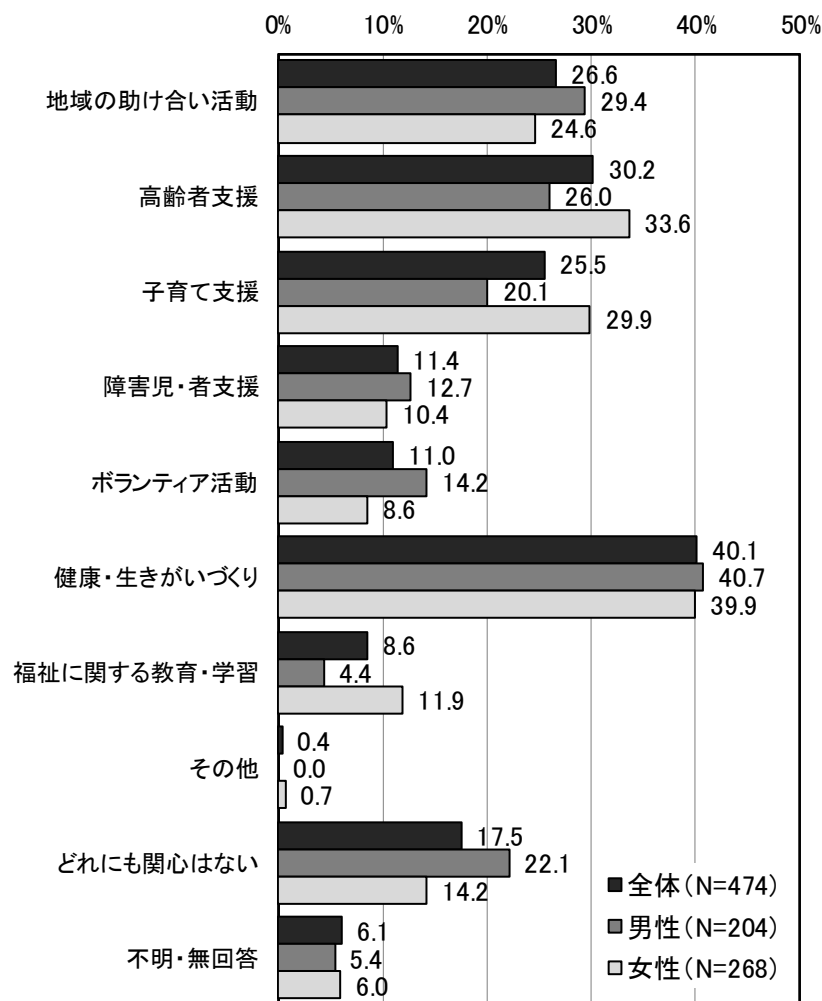
全体では、「健康・生きがいがづくり」が40.1%と最も高く、次いで「高齢者支援」が30.2%、「地域の助け合い活動」が26.6%となっています。

性別でみると、女性で「子育て支援」「高齢者支援」「福祉に関する教育・学習」が男性と比べて高くなっています。一方、男性では「どれにも関心はない」「ボランティア活動」が女性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「子育て支援」、50歳代及び80歳以上で「高齢者支援」が、他の年齢と比べて高くなっています。また、40歳以上で年齢があがるにつれ「健康・生きがいがづくり」が高くなる傾向がみられます。

地区別でみると、新川地区で「高齢者支援」、中央地区で「子育て支援」、棚尾地区で「子育て支援」「障害児・者支援」、西端地区で「高齢者支援」「健康・生きがいがづくり」が、他の地区と比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、祖父母と親と子（3世代世帯）で「子育て支援」が40.5%と、他の家族構成と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

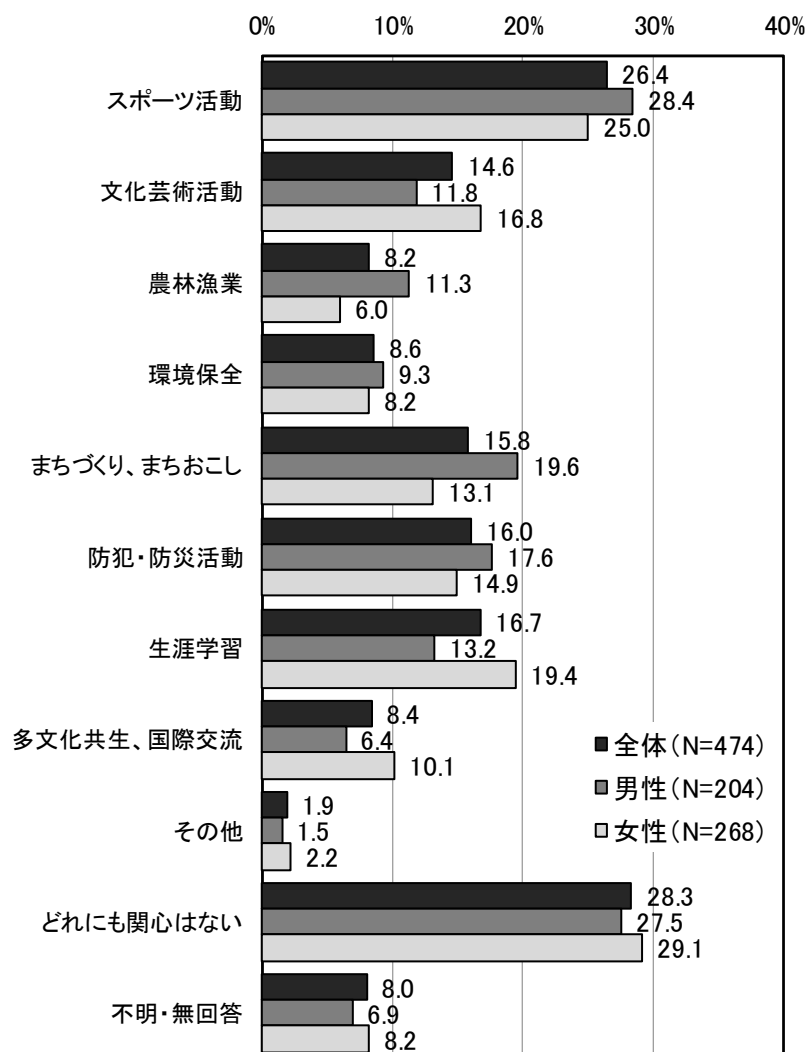
区分	N=	地域の助け合い活動	高齢者支援	子育て支援	障害児・者支援	ボランティア活動	健康・生きがいづくり	福祉に関する教育・学習	その他	どれも関心はない	不明・無回答
【年齢別】											
18～19歳	9	11.1	22.2	33.3	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1
20歳代	38	18.4	18.4	44.7	2.6	7.9	26.3	5.3	0.0	23.7	5.3
30歳代	52	25.0	23.1	69.2	11.5	11.5	11.5	11.5	0.0	17.3	3.8
40歳代	64	28.1	25.0	35.9	12.5	7.8	37.5	10.9	0.0	26.6	0.0
50歳代	71	21.1	40.8	16.9	16.9	15.5	40.8	16.9	1.4	11.3	2.8
60歳代	84	34.5	25.0	17.9	20.2	14.3	46.4	7.1	0.0	16.7	6.0
70歳代	98	30.6	27.6	5.1	7.1	10.2	53.1	5.1	1.0	16.3	8.2
80歳以上	55	23.6	50.9	14.5	5.5	7.3	50.9	3.6	0.0	10.9	14.5
【地区別】											
新川地区	98	32.7	36.7	21.4	10.2	16.3	43.9	4.1	1.0	16.3	7.1
中央地区	76	27.6	28.9	34.2	9.2	13.2	35.5	10.5	1.3	15.8	2.6
大浜地区	94	24.5	28.7	21.3	9.6	3.2	34.0	8.5	0.0	23.4	5.3
棚尾地区	51	27.5	21.6	37.3	23.5	7.8	39.2	11.8	0.0	11.8	9.8
旭地区	96	25.0	26.0	25.0	8.3	13.5	40.6	10.4	0.0	14.6	6.3
西端地区	53	20.8	39.6	18.9	13.2	9.4	52.8	9.4	0.0	22.6	1.9
【世帯構成別】											
単身世帯(1人)	48	16.7	35.4	14.6	8.3	4.2	37.5	6.3	2.1	16.7	8.3
夫婦だけ (1世代世帯)	104	24.0	27.9	16.3	12.5	10.6	41.3	5.8	1.0	26.9	2.9
親と子 (2世代世帯)	222	29.3	27.9	27.9	11.3	13.1	37.8	8.6	0.0	15.8	7.7
祖父母と親と子 (3世代世帯)	74	24.3	36.5	40.5	8.1	12.2	39.2	9.5	0.0	12.2	5.4
その他の世帯	22	40.9	31.8	18.2	27.3	4.5	59.1	18.2	0.0	13.6	0.0

問13 福祉以外の以下の分野で、関心があることや参加してみたい活動はありますか。
 (現在活動しているものも含みます) (あてはまるものすべてに○)

全体では、「どれにも関心はない」が28.3%と最も高く、次いで「スポーツ活動」が26.4%、「生涯学習」が16.7%となっています。

性別で見ると、男性で「まちづくり、まちおこし」「農林漁業」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「生涯学習」「文化芸術活動」が男性と比べて高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代及び80歳以上で「どれにも関心はない」、30歳代で「スポーツ活動」、50歳代で「防犯・防災活動」、60歳代及び70歳代で「生涯学習」が、他の年齢と比べて高くなっています。地区別で見ると、新川地区で「文化芸術活動」、中央地区で「まちづくり、まちおこし」、旭地区で「生涯学習」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	スポーツ活動	文化芸術活動	農林漁業	環境保全	まちおこし まちづくり、	防犯・防災活動	生涯学習	国際交流 多文化共生、	その他	はな い ど れ に も 関 心	不明・無回答
【年齢別】												
18～19歳	9	44.4	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	44.4	0.0
20歳代	38	18.4	5.3	10.5	13.2	15.8	15.8	2.6	18.4	0.0	39.5	7.9
30歳代	52	40.4	15.4	15.4	5.8	17.3	15.4	13.5	13.5	1.9	28.8	3.8
40歳代	64	32.8	12.5	4.7	7.8	20.3	17.2	12.5	6.3	1.6	31.3	0.0
50歳代	71	25.4	22.5	9.9	9.9	18.3	23.9	16.9	16.9	1.4	21.1	4.2
60歳代	84	27.4	21.4	10.7	6.0	19.0	10.7	26.2	6.0	0.0	26.2	6.0
70歳代	98	22.4	11.2	4.1	10.2	12.2	14.3	22.4	2.0	4.1	21.4	16.3
80歳以上	55	14.5	10.9	5.5	10.9	10.9	16.4	10.9	1.8	3.6	40.0	14.5
【地区別】												
新川地区	98	29.6	21.4	4.1	10.2	17.3	14.3	16.3	4.1	3.1	24.5	9.2
中央地区	76	31.6	14.5	10.5	7.9	21.1	14.5	15.8	13.2	1.3	28.9	6.6
大浜地区	94	18.1	13.8	8.5	6.4	14.9	17.0	12.8	5.3	2.1	34.0	6.4
棚尾地区	51	29.4	11.8	9.8	9.8	15.7	13.7	19.6	9.8	2.0	21.6	11.8
旭地区	96	27.1	10.4	6.3	7.3	12.5	17.7	24.0	8.3	2.1	27.1	7.3
西端地区	53	26.4	15.1	13.2	11.3	13.2	20.8	11.3	13.2	0.0	32.1	3.8

問14 あなたは、自分にとって必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていますか。（○は1つだけ）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『できている』 …「十分できている」と「まあまあできている」の合算

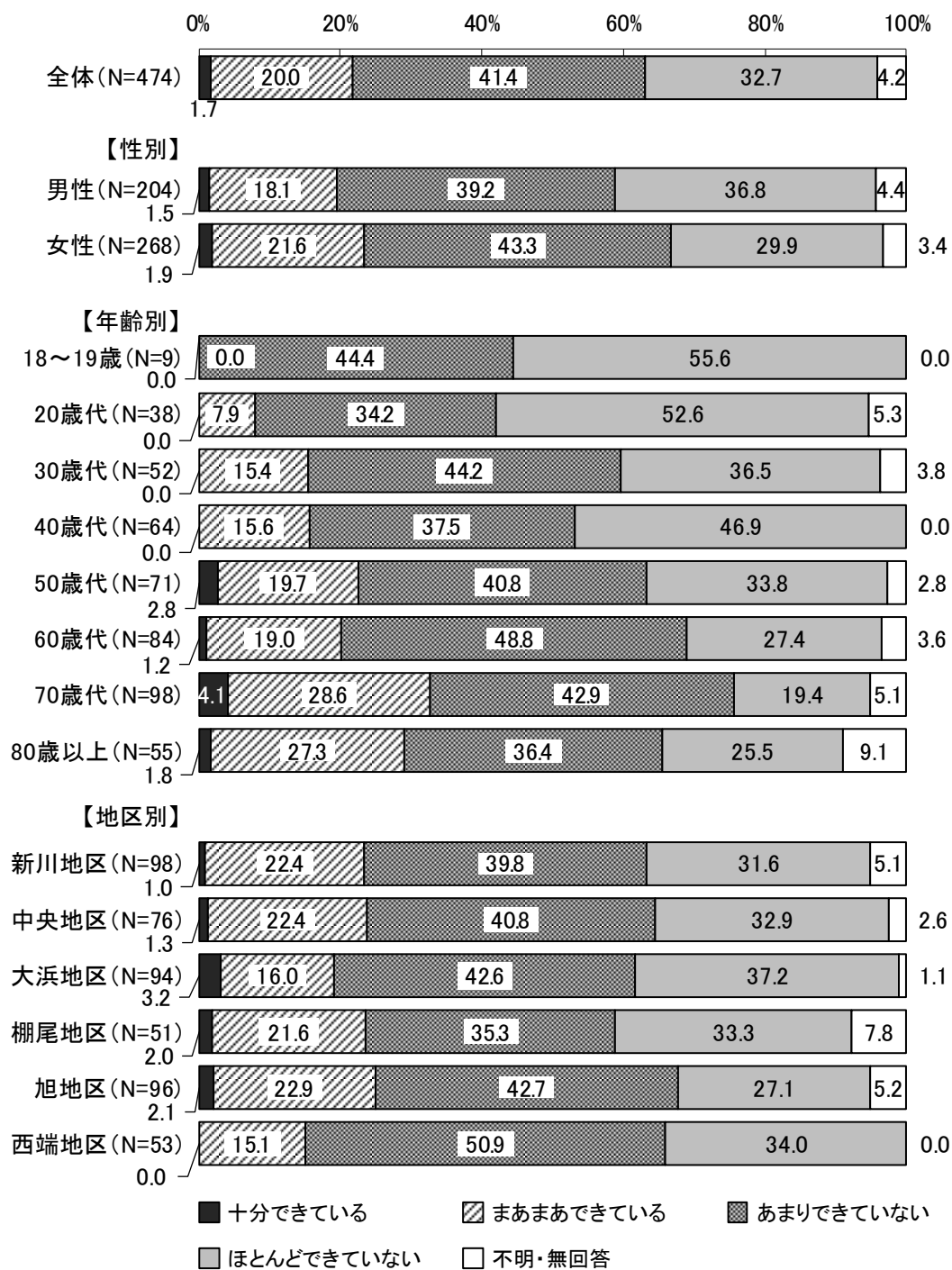
『できていない』 …「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合算

全体では、『できている』が21.7%、『できていない』が74.1%となっています。

性別で見ると、『できていない』が男性で76.0%、女性で73.2%となっています。

年齢別で見ると、70歳以上で『できている』が他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、西端地区で『できていない』が84.9%と、他の地区と比べて高くなっています。



<問14で「1 十分にできている」または「2 まあまあできている」と答えた方のみ>

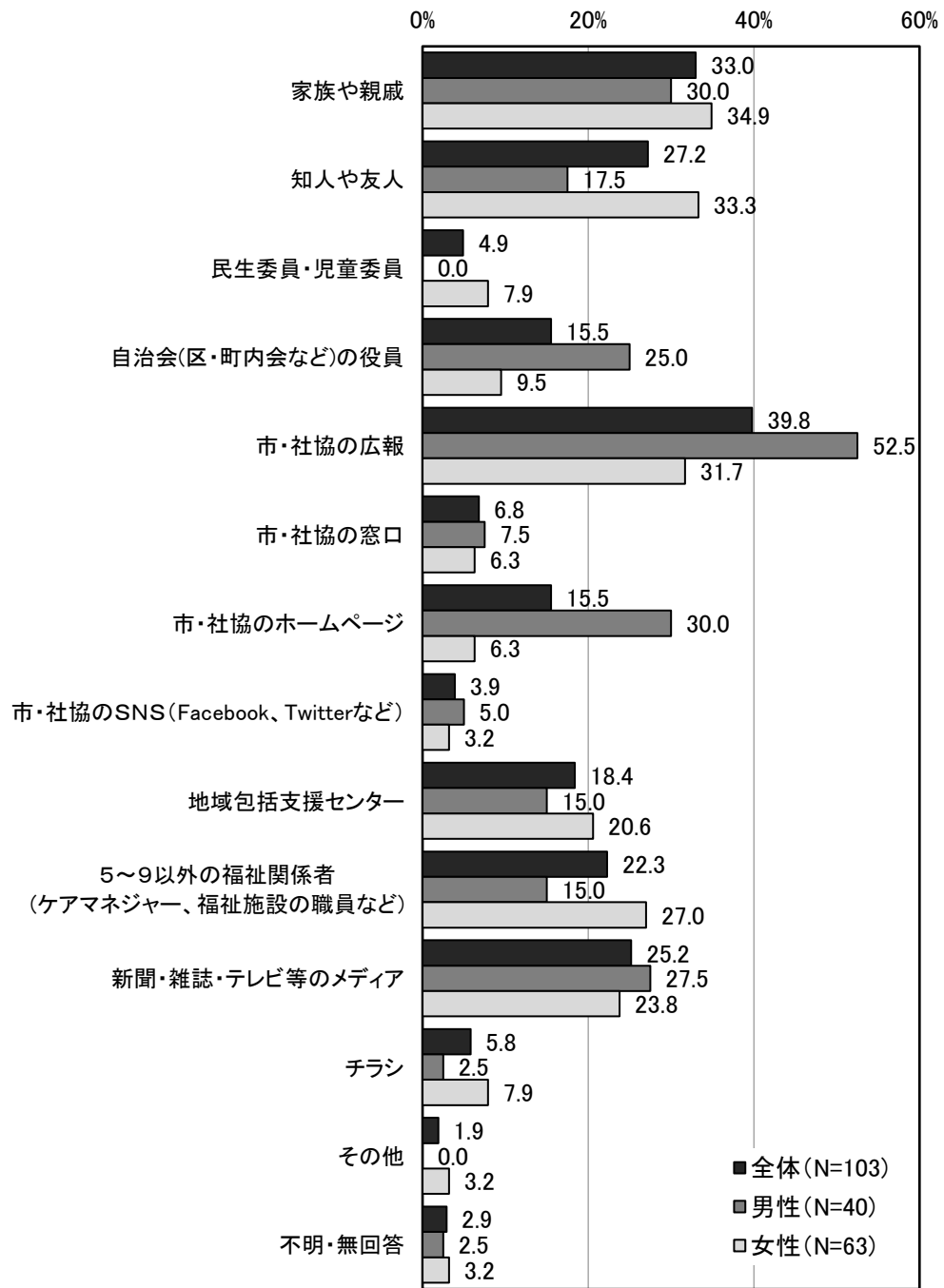
問15 福祉の制度・サービスについての情報は主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「市・社協の広報」が39.8%と最も高く、次いで「家族や親戚」が33.0%、「知人や友人」が27.2%となっています。

性別でみると、男性で「市・社協のホームページ」「市・社協の広報」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「知人や友人」「5～9以外の福祉関係者(ケアマネジャー、福祉施設の職員など)」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、70歳以上で「家族や親戚」が他の年齢と比べて高くなっています。また、70歳以上では「市・社協のホームページ」が他の年齢と比べて低くなっています。

地区別でみると、大浜地区で「家族や親戚」、新川地区で「自治会(区・町内会など)の役員」「新聞・雑誌・テレビ等のメディア」、棚尾地区で「5～9以外の福祉関係者(ケアマネジャー、福祉施設の職員など)」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	家族や親戚	知人や友人	民生委員・児童委員	自治会区・町内会などの役員	市・社協の広報	市・社協の窓口	市・社協のホームページ	市・社協のSNS（Facebook、Twitterなど）	地域包括支援センター	5〜9以外の福祉関係者（ケアマネジャー、福祉施設の職員など）
【年齢別】											
20歳代	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
30歳代	8	37.5	37.5	12.5	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0
40歳代	10	40.0	30.0	0.0	10.0	60.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0
50歳代	16	18.8	25.0	0.0	6.3	37.5	18.8	25.0	0.0	25.0	50.0
60歳代	17	17.6	17.6	0.0	17.6	41.2	5.9	23.5	5.9	11.8	23.5
70歳代	32	40.6	40.6	6.3	21.9	43.8	3.1	3.1	0.0	18.8	25.0
80歳以上	16	37.5	12.5	12.5	25.0	18.8	12.5	0.0	0.0	31.3	12.5
【地区別】											
新川地区	23	21.7	13.0	13.0	30.4	43.5	4.3	21.7	4.3	8.7	21.7
中央地区	18	33.3	33.3	0.0	22.2	33.3	11.1	5.6	0.0	22.2	22.2
大浜地区	18	50.0	27.8	5.6	0.0	38.9	11.1	11.1	5.6	16.7	22.2
棚尾地区	12	41.7	33.3	8.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	33.3
旭地区	24	25.0	33.3	0.0	16.7	41.7	4.2	16.7	4.2	25.0	16.7
西端地区	8	37.5	25.0	0.0	0.0	62.5	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0

区分	N=	新聞・雑誌・テレビ等のメディア	チラシ	その他	不明・無回答
【年齢別】					
20歳代	3	0.0	0.0	33.3	0.0
30歳代	8	12.5	25.0	12.5	0.0
40歳代	10	30.0	20.0	0.0	0.0
50歳代	16	12.5	6.3	0.0	0.0
60歳代	17	35.3	0.0	0.0	0.0
70歳代	32	37.5	3.1	0.0	3.1
80歳以上	16	12.5	0.0	0.0	12.5
【地区別】					
新川地区	23	34.8	0.0	0.0	4.3
中央地区	18	16.7	5.6	5.6	5.6
大浜地区	18	27.8	5.6	0.0	0.0
棚尾地区	12	25.0	8.3	8.3	0.0
旭地区	24	20.8	8.3	0.0	4.2
西端地区	8	25.0	12.5	0.0	0.0

※年齢別の「18～19歳」については、回答が0であったため、掲載していません。

4 日常生活の中の課題について

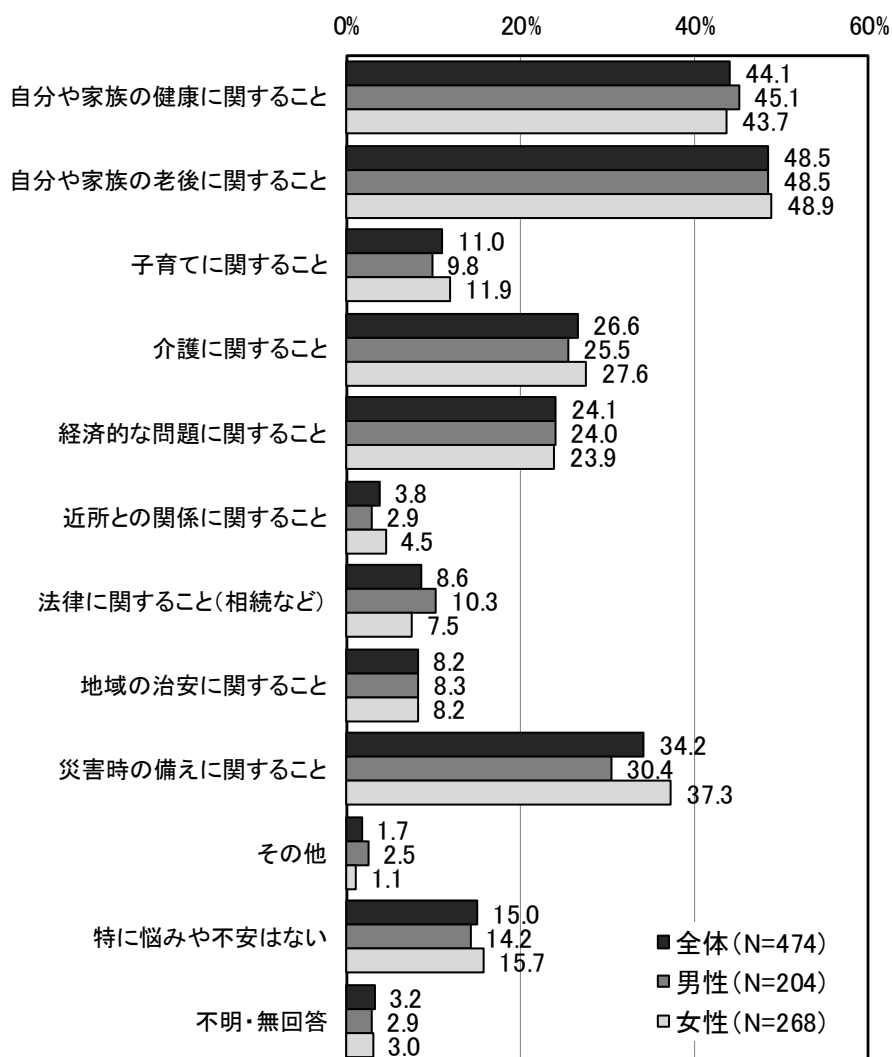
問16 あなた、あるいはご家族は現在、日常生活において、主にどのようなことに悩みや不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「自分や家族の老後に関すること」が48.5%と最も高く、次いで「自分や家族の健康に関すること」が44.1%、「災害時の備えに関すること」が34.2%となっています。

性別でみると、女性で「災害時の備えに関すること」が37.3%と、男性と比べて6.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「子育てに関すること」「災害時の備えに関すること」、40歳代～60歳代で「自分や家族の老後に関すること」、80歳以上で「介護に関すること」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、中央地区で「自分や家族の健康に関すること」、新川地区で「介護に関すること」、旭地区で「災害時の備えに関すること」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の老後に関すること	子育てに関すること	介護に関すること	経済的な問題に関すること	近所との関係に関すること	法律に関すること（相続など）	地域の治安に関すること	災害時の備えに関すること	その他	特に悩みや不安はない	不明・無回答
【年齢別】													
18～19歳	9	33.3	22.2	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	33.3	0.0
20歳代	38	23.7	31.6	21.1	15.8	34.2	2.6	5.3	15.8	39.5	0.0	28.9	0.0
30歳代	52	36.5	38.5	36.5	11.5	30.8	5.8	7.7	7.7	46.2	0.0	3.8	3.8
40歳代	64	42.2	60.9	18.8	23.4	31.3	9.4	4.7	9.4	39.1	1.6	12.5	0.0
50歳代	71	50.7	56.3	5.6	35.2	23.9	4.2	9.9	8.5	40.8	5.6	4.2	4.2
60歳代	84	39.3	52.4	6.0	19.0	22.6	3.6	8.3	11.9	34.5	2.4	19.0	4.8
70歳代	98	53.1	46.9	0.0	32.7	14.3	2.0	13.3	6.1	25.5	0.0	18.4	3.1
80歳以上	55	52.7	47.3	1.8	45.5	20.0	0.0	9.1	1.8	18.2	1.8	18.2	3.6
【地区別】													
新川地区	98	44.9	53.1	7.1	34.7	29.6	5.1	11.2	6.1	28.6	0.0	18.4	3.1
中央地区	76	56.6	40.8	15.8	18.4	23.7	2.6	5.3	11.8	35.5	1.3	17.1	1.3
大浜地区	94	38.3	41.5	5.3	26.6	19.1	2.1	9.6	11.7	31.9	2.1	17.0	4.3
棚尾地区	51	29.4	47.1	13.7	25.5	21.6	5.9	9.8	3.9	27.5	3.9	15.7	5.9
旭地区	96	45.8	56.3	15.6	27.1	26.0	6.3	7.3	8.3	44.8	3.1	7.3	1.0
西端地区	53	49.1	54.7	9.4	26.4	20.8	0.0	9.4	5.7	35.8	0.0	13.2	3.8

問17 あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

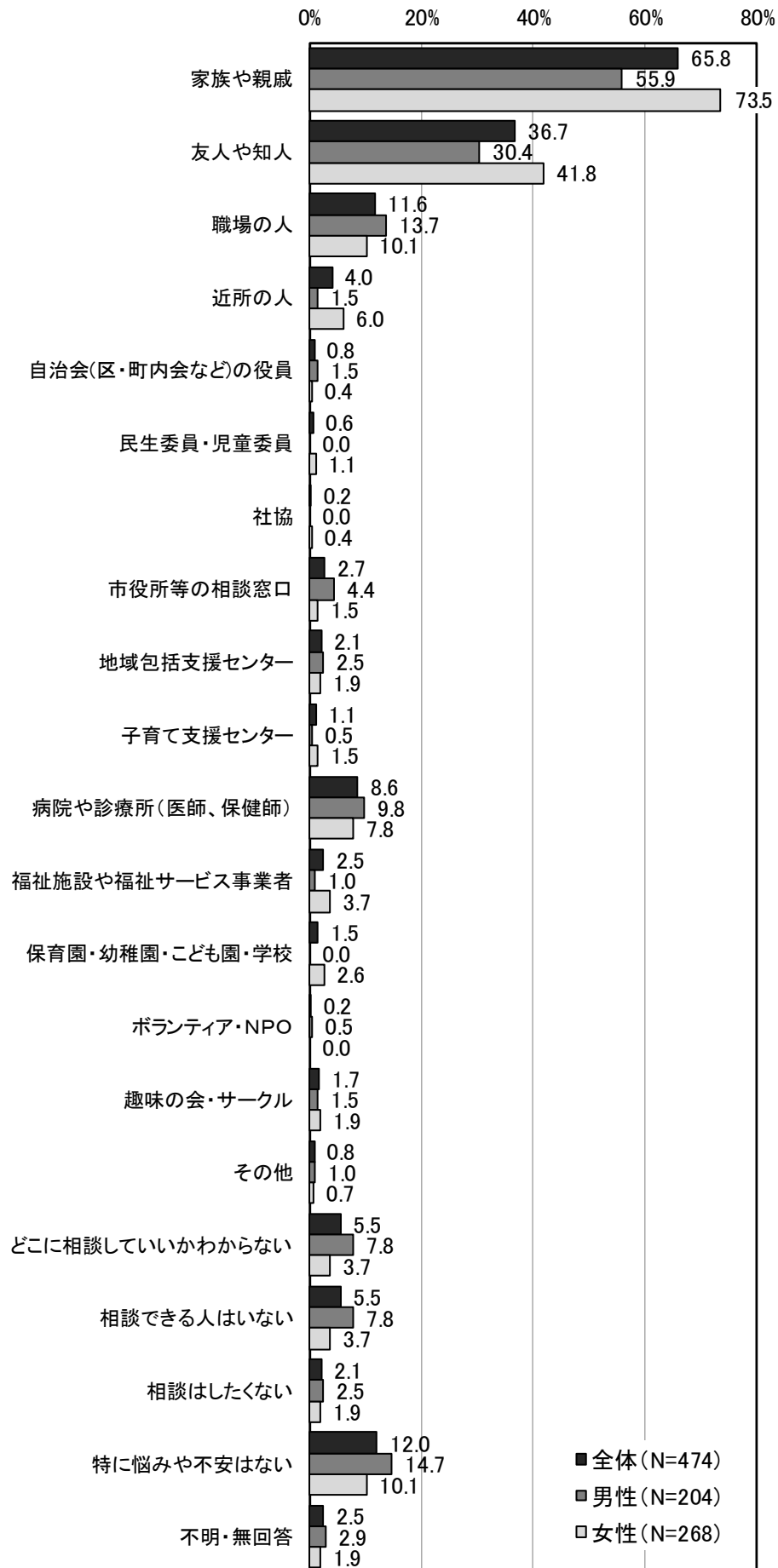
全体では、「家族や親戚」が65.8％と最も高く、次いで「友人や知人」が36.7％、「特に悩みや不安はない」が12.0％となっています。

性別でみると、女性で「家族や親戚」「友人や知人」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、30歳代～60歳代及び80歳以上で「どこに相談していいかわからない」、40歳代～60歳代及び80歳以上で「相談できる人はいない」がそれぞれ5.0％以上となっています。

地区別でみると、旭地区で「どこに相談していいかわからない」「相談できる人はいない」が、他の地区と比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、単身世帯（1人）及びその他の世帯で「相談できる人はいない」が1割以上となっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	家族や親戚	友人や知人	職場の人	近所の人	自治会(区・町内会など)の	民生委員・児童委員	社協	談窓口	市役所等の相談窓口	地域包括支援センター	子育て支援センター	病院や診療所(医師、保健師)		
【年齢別】															
18～19歳	9	66.7	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
20歳代	38	71.1	60.5	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
30歳代	52	88.5	51.9	21.2	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	3.8	0.0		
40歳代	64	73.4	37.5	29.7	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	5.6		
50歳代	71	62.0	43.7	12.7	1.4	1.4	0.0	0.0	2.8	1.4	0.0	0.0	7.1		
60歳代	84	51.2	25.0	4.8	4.8	2.4	2.4	0.0	2.4	1.2	0.0	0.0	19.4		
70歳代	98	64.3	34.7	1.0	5.1	1.0	1.0	1.0	3.1	4.1	0.0	0.0	18.2		
80歳以上	55	63.6	20.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	5.5	5.5	0.0	0.0			
【地区別】															
新川地区	98	65.3	37.8	15.3	4.1	0.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	10.2		
中央地区	76	69.7	31.6	5.3	7.9	1.3	1.3	0.0	1.3	3.9	0.0	0.0	10.5		
大浜地区	94	62.8	37.2	11.7	1.1	0.0	0.0	0.0	4.3	1.1	1.1	1.1	4.3		
棚尾地区	51	66.7	39.2	15.7	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	7.8		
旭地区	96	64.6	38.5	12.5	4.2	1.0	0.0	0.0	3.1	2.1	3.1	3.1	8.3		
西端地区	53	71.7	37.7	9.4	5.7	1.9	0.0	0.0	5.7	3.8	0.0	0.0	11.3		
【世帯構成別】															
単身世帯(1人)	48	50.0	35.4	16.7	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	10.4		
夫婦だけ(1世代世帯)	104	67.3	27.9	5.8	2.9	0.0	1.0	0.0	1.9	3.8	1.0	1.0	5.8		
親と子(2世代世帯)	222	68.5	40.5	12.6	5.0	1.4	0.0	0.5	3.2	1.4	1.4	1.4	9.5		
祖父母と親と子(3世代世帯)	74	73.0	40.5	13.5	4.1	1.4	1.4	0.0	4.1	2.7	1.4	1.4	9.5		
その他の世帯	22	50.0	31.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1		
区分	N=	サ ー ビ ス 事 業 者	福 祉 施 設 や 福 祉	こ ど も 園 ・ 学 校	保 育 園 ・ 幼 稚 園	N P O	ボ ラ ン テ ィ ア	イ ン ク ル	趣 味 の 会 ・ サ ー ク ル	そ の 他	ど こ に 相 談 し て い い か わ ら な い	相 談 で き る 人 は い な い	相 談 は し た く な い	特 に 悩 み や 不 安 は な い	不 明 無 回 答
【年齢別】															
18～19歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
20歳代	38	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	7.9	7.9	0.0	0.0
30歳代	52	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	3.8	0.0
40歳代	64	0.0	4.7	0.0	0.0	1.6	6.3	7.8	1.6	1.6	1.6	9.4	9.4	0.0	0.0
50歳代	71	4.2	0.0	1.4	1.4	1.4	5.6	7.0	1.4	1.4	5.6	5.6	5.6	2.8	0.0
60歳代	84	3.6	0.0	0.0	1.2	0.0	6.0	9.5	3.6	3.6	16.7	16.7	16.7	3.6	0.0
70歳代	98	4.1	0.0	0.0	5.1	0.0	4.1	2.0	2.0	2.0	19.4	19.4	19.4	2.0	0.0
80歳以上	55	3.6	0.0	0.0	1.8	1.8	7.3	7.3	3.6	3.6	16.4	16.4	16.4	3.6	0.0
【地区別】															
新川地区	98	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	3.1	4.1	4.1	4.1	13.3	13.3	13.3	2.0	0.0
中央地区	76	5.3	2.6	0.0	1.3	1.3	5.3	1.3	1.3	1.3	10.5	10.5	10.5	1.3	0.0
大浜地区	94	1.1	1.1	1.1	0.0	0.0	6.4	5.3	3.2	3.2	12.8	12.8	12.8	2.1	0.0
棚尾地区	51	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.9	5.9	2.0	2.0	13.7	13.7	13.7	5.9	0.0
旭地区	96	5.2	2.1	0.0	2.1	3.1	8.3	10.4	0.0	0.0	9.4	9.4	9.4	2.1	0.0
西端地区	53	3.8	0.0	0.0	5.7	0.0	5.7	5.7	1.9	1.9	11.3	11.3	11.3	1.9	0.0
【世帯構成別】															
単身世帯(1人)	48	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	10.4	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
夫婦だけ(1世代世帯)	104	2.9	0.0	0.0	1.9	0.0	5.8	1.0	1.9	1.9	16.3	16.3	16.3	1.9	0.0
親と子(2世代世帯)	222	1.8	2.7	0.0	0.5	1.4	5.4	6.3	1.8	1.8	10.4	10.4	10.4	2.3	0.0
祖父母と親と子(3世代世帯)	74	2.7	1.4	1.4	4.1	1.4	4.1	4.1	4.1	4.1	9.5	9.5	9.5	1.4	0.0
その他の世帯	22	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	13.6	4.5	4.5	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0

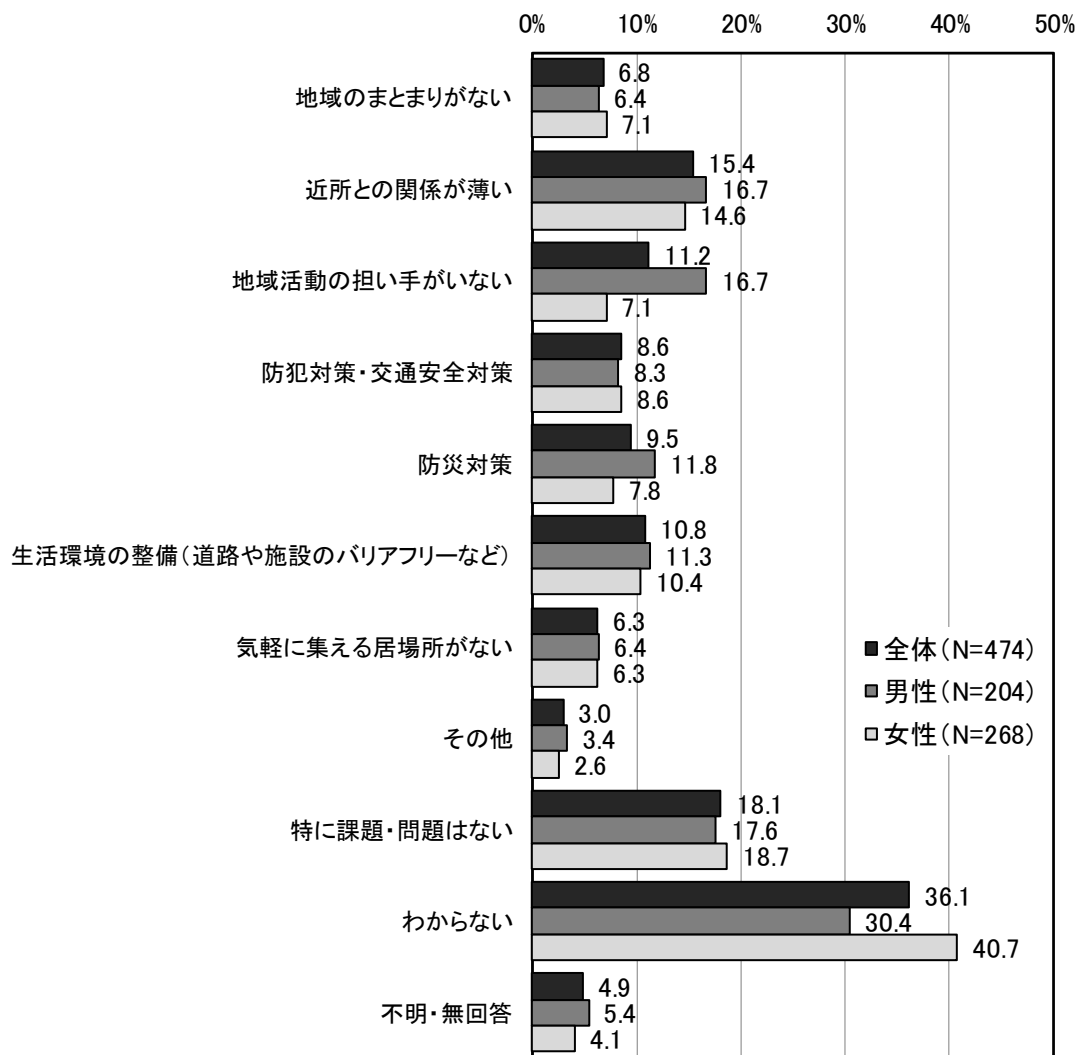
問18 あなたが住んでいる地域には、どのような課題・問題がありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「わからない」が36.1%と最も高く、次いで「特に課題・問題はない」が18.1%、「近所との関係が薄い」が15.4%となっています。

性別でみると、男性で「地域活動の担い手がいない」が16.7%と、女性と比べて9.6ポイント高くなっています。一方、女性では「わからない」が40.7%と、男性と比べて10.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で「わからない」、30歳代で「防犯対策・交通安全対策」「わからない」、50歳代及び60歳代で「地域活動の担い手がいない」、60歳代及び70歳代で「近所との関係が薄い」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、棚尾地区、中央地区及び西端地区で「近所との関係が薄い」、旭地区及び西端地区で「地域活動の担い手がいない」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	地域のまとまりがない	近所との関係が薄い	い 地域活動の担い手がいな	防犯対策・交通安全対策	防災対策	生活環境の整備（道路や 施設のバリアフリーなど）	い 気軽に集える居場所がな	その他	特に課題・問題はない	わからない	不明・無回答
【年齢別】												
18～19歳	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0
20歳代	38	5.3	13.2	5.3	5.3	7.9	10.5	10.5	5.3	15.8	52.6	0.0
30歳代	52	7.7	11.5	1.9	19.2	9.6	9.6	0.0	1.9	5.8	50.0	7.7
40歳代	64	3.1	6.3	3.1	9.4	10.9	17.2	3.1	4.7	15.6	42.2	0.0
50歳代	71	5.6	14.1	18.3	5.6	12.7	8.5	8.5	5.6	12.7	42.3	4.2
60歳代	84	13.1	20.2	21.4	9.5	10.7	11.9	7.1	1.2	19.0	26.2	4.8
70歳代	98	6.1	21.4	11.2	6.1	6.1	7.1	6.1	3.1	27.6	24.5	6.1
80歳以上	55	5.5	16.4	9.1	7.3	10.9	9.1	9.1	0.0	23.6	32.7	9.1
【地区別】												
新川地区	98	9.2	14.3	11.2	9.2	11.2	11.2	4.1	4.1	19.4	39.8	3.1
中央地区	76	7.9	19.7	7.9	7.9	5.3	9.2	5.3	2.6	17.1	43.4	2.6
大浜地区	94	6.4	10.6	6.4	7.4	10.6	12.8	6.4	4.3	20.2	27.7	7.4
棚尾地区	51	7.8	19.6	11.8	11.8	9.8	13.7	5.9	0.0	17.6	33.3	5.9
旭地区	96	5.2	13.5	15.6	5.2	7.3	7.3	9.4	3.1	15.6	42.7	4.2
西端地区	53	3.8	18.9	17.0	11.3	13.2	13.2	7.5	0.0	18.9	26.4	3.8

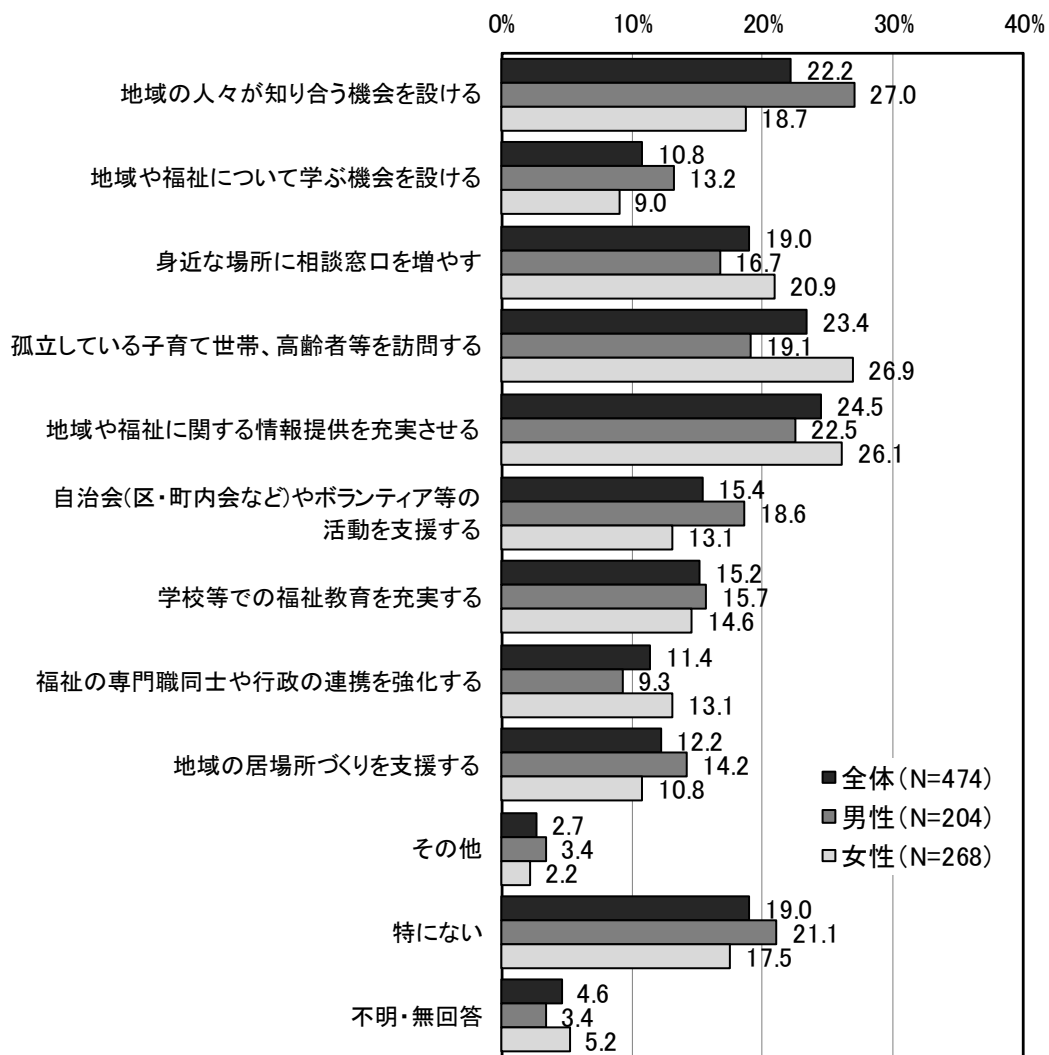
問19 碧南市で支え合う地域づくりを進めるために、行政（市）はどのような支援を行う必要があると思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「地域や福祉に関する情報提供を充実させる」が24.5%と最も高く、次いで「孤立している子育て世帯、高齢者等を訪問する」が23.4%、「地域の人々が知り合う機会を設ける」が22.2%となっています。

性別でみると、男性で「地域の人々が知り合う機会を設ける」「自治会(区・町内会など)やボランティア等の活動を支援する」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「孤立している子育て世帯、高齢者等を訪問する」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、20～40歳代で「学校等での福祉教育を充実する」、40～60歳代で「福祉の専門職同士や行政の連携を強化する」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、旭地区で「地域や福祉に関する情報提供を充実させる」、西端地区で「地域の人々が知り合う機会を設ける」、新川地区で「孤立している子育て世帯、高齢者等を訪問する」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	地域の人々が知り合う機会を設ける	地域や福祉について学ぶ機会を設ける	身近な場所に相談窓口を増やす	孤立している子育て世帯、高齢者等を訪問する	地域や福祉に関する情報提供を充実させる	自治会(区・町内会など)やボランティア等の活動を支援する	学校等での福祉教育を充実する	福祉の専門職同士や行政の連携を強化する	地域の居場所づくりを支援する	その他	特にない	不明・無回答
【年齢別】													
18～19歳	9	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
20歳代	38	10.5	7.9	7.9	26.3	18.4	5.3	26.3	5.3	15.8	2.6	28.9	2.6
30歳代	52	28.8	9.6	17.3	26.9	19.2	11.5	26.9	9.6	13.5	1.9	9.6	3.8
40歳代	64	21.9	10.9	25.0	29.7	26.6	12.5	25.0	17.2	10.9	3.1	10.9	0.0
50歳代	71	16.9	16.9	25.4	32.4	22.5	15.5	14.1	15.5	12.7	8.5	9.9	2.8
60歳代	84	25.0	9.5	15.5	22.6	32.1	21.4	10.7	15.5	14.3	2.4	19.0	3.6
70歳代	98	27.6	11.2	17.3	17.3	27.6	21.4	6.1	8.2	12.2	0.0	24.5	6.1
80歳以上	55	20.0	9.1	23.6	12.7	20.0	10.9	3.6	5.5	7.3	1.8	30.9	12.7
【地区別】													
新川地区	98	23.5	12.2	21.4	30.6	18.4	22.4	13.3	7.1	8.2	0.0	19.4	5.1
中央地区	76	23.7	13.2	14.5	19.7	23.7	15.8	21.1	7.9	10.5	6.6	15.8	2.6
大浜地区	94	21.3	7.4	19.1	20.2	20.2	9.6	16.0	11.7	14.9	3.2	23.4	3.2
棚尾地区	51	15.7	11.8	21.6	25.5	25.5	15.7	15.7	13.7	11.8	0.0	17.6	11.8
旭地区	96	19.8	10.4	17.7	21.9	36.5	13.5	16.7	13.5	13.5	3.1	17.7	2.1
西端地区	53	32.1	11.3	17.0	22.6	24.5	17.0	5.7	18.9	17.0	3.8	18.9	3.8

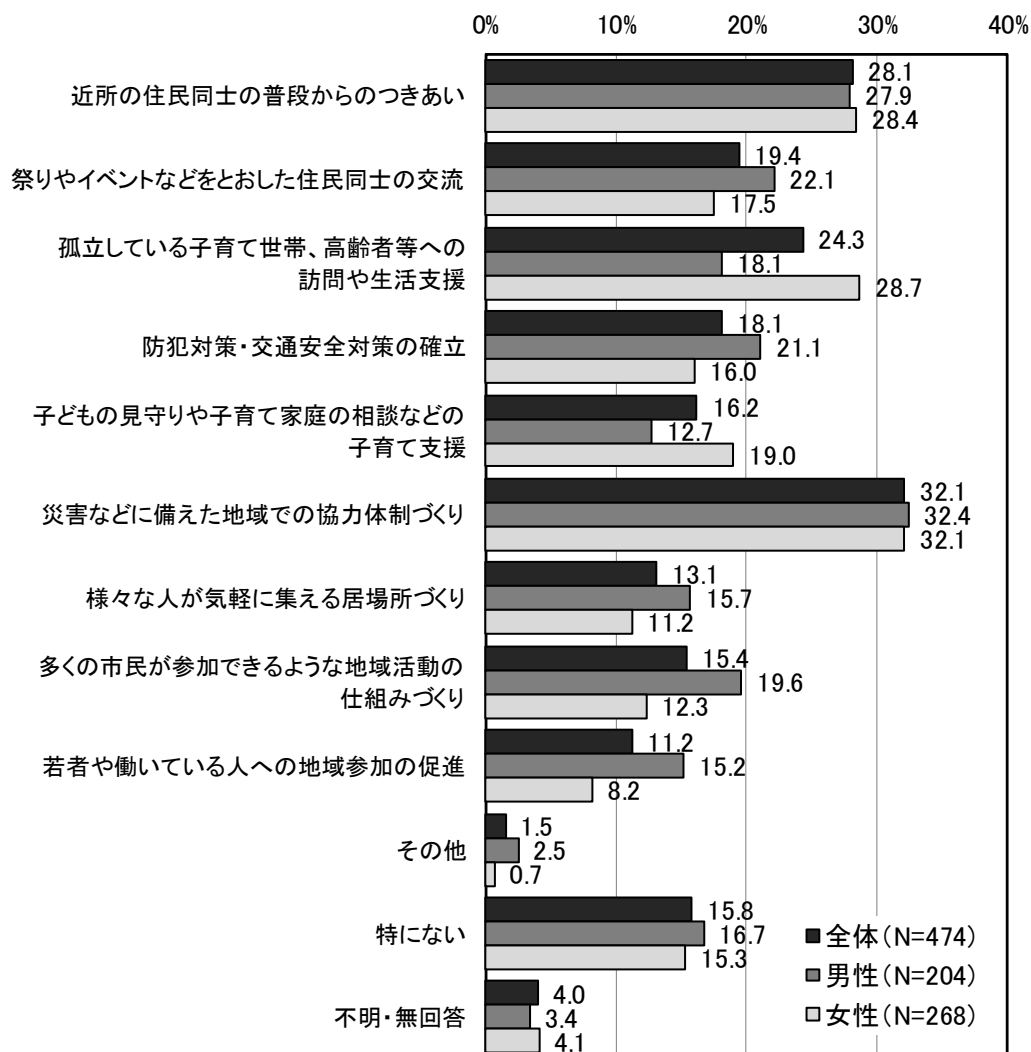
問20 碧南市で支え合う地域づくりを進めるために、地域としてどのようなことに取り
組む必要があると思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が32.1%と最も高く、次いで「近所の住民同士の普段からのつきあい」が28.1%、「孤立している子育て世帯、高齢者等への訪問や生活支援」が24.3%となっています。

性別でみると、女性で「孤立している子育て世帯、高齢者等への訪問や生活支援」「子どもの見守りや子育て家庭の相談などの子育て支援」が男性と比べて高くなっています。一方、男性では「多くの市民が参加できるような地域活動の仕組みづくり」「防犯対策・交通安全対策の確立」が女性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で「祭りやイベントなどをおとした住民同士の交流」、30歳代で「子どもの見守りや子育て家庭の相談などの子育て支援」、50歳代で「災害などに備えた地域での協力体制づくり」、80歳以上で「近所の住民同士の普段からのつきあい」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、新川地区で「近所の住民同士の普段からのつきあい」「孤立している子育て世帯、高齢者等への訪問や生活支援」、西端地区で「災害などに備えた地域での協力体制づくり」「孤立している子育て世帯、高齢者等への訪問や生活支援」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	近所の住民同士の普段からのつきあい	住民同士の交流	祭りやイベントなどをとおした	孤立している子育て世帯、高齢者等への訪問や生活支援	防犯対策・交通安全対策の確立	子どもの見守りや子育て家庭の相談などの子育て支援	体制づくり	災害などに備えた地域での協力体制づくり	様々な人が気軽に集える居場所づくり	多くの市民が参加できるような地域活動の	若者や働いている人への地域参加の促進	その他	特になし	不明・無回答
【年齢別】															
18～19歳	9	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2	0.0	33.3	0.0		
20歳代	38	18.4	28.9	23.7	18.4	34.2	34.2	10.5	15.8	21.1	0.0	18.4	0.0		
30歳代	52	30.8	23.1	25.0	19.2	40.4	23.1	11.5	11.5	7.7	0.0	5.8	3.8		
40歳代	64	15.6	23.4	31.3	26.6	21.9	39.1	7.8	18.8	7.8	1.6	14.1	0.0		
50歳代	71	15.5	15.5	31.0	19.7	21.1	45.1	11.3	18.3	14.1	4.2	9.9	4.2		
60歳代	84	35.7	20.2	20.2	19.0	8.3	28.6	19.0	14.3	15.5	1.2	16.7	3.6		
70歳代	98	34.7	16.3	18.4	13.3	5.1	36.7	14.3	15.3	9.2	1.0	17.3	6.1		
80歳以上	55	41.8	16.4	23.6	12.7	1.8	10.9	14.5	14.5	1.8	1.8	27.3	7.3		
【地区別】															
新川地区	98	34.7	23.5	30.6	16.3	12.2	24.5	10.2	15.3	12.2	0.0	14.3	4.1		
中央地区	76	28.9	27.6	19.7	18.4	21.1	26.3	10.5	13.2	10.5	2.6	17.1	2.6		
大浜地区	94	23.4	20.2	22.3	21.3	19.1	31.9	13.8	9.6	8.5	1.1	17.0	3.2		
棚尾地区	51	21.6	13.7	19.6	19.6	13.7	35.3	13.7	17.6	13.7	0.0	17.6	9.8		
旭地区	96	28.1	15.6	22.9	17.7	12.5	36.5	15.6	19.8	12.5	4.2	14.6	1.0		
西端地区	53	28.3	11.3	32.1	17.0	20.8	45.3	17.0	18.9	11.3	0.0	15.1	3.8		

5 地域の助けあいについて

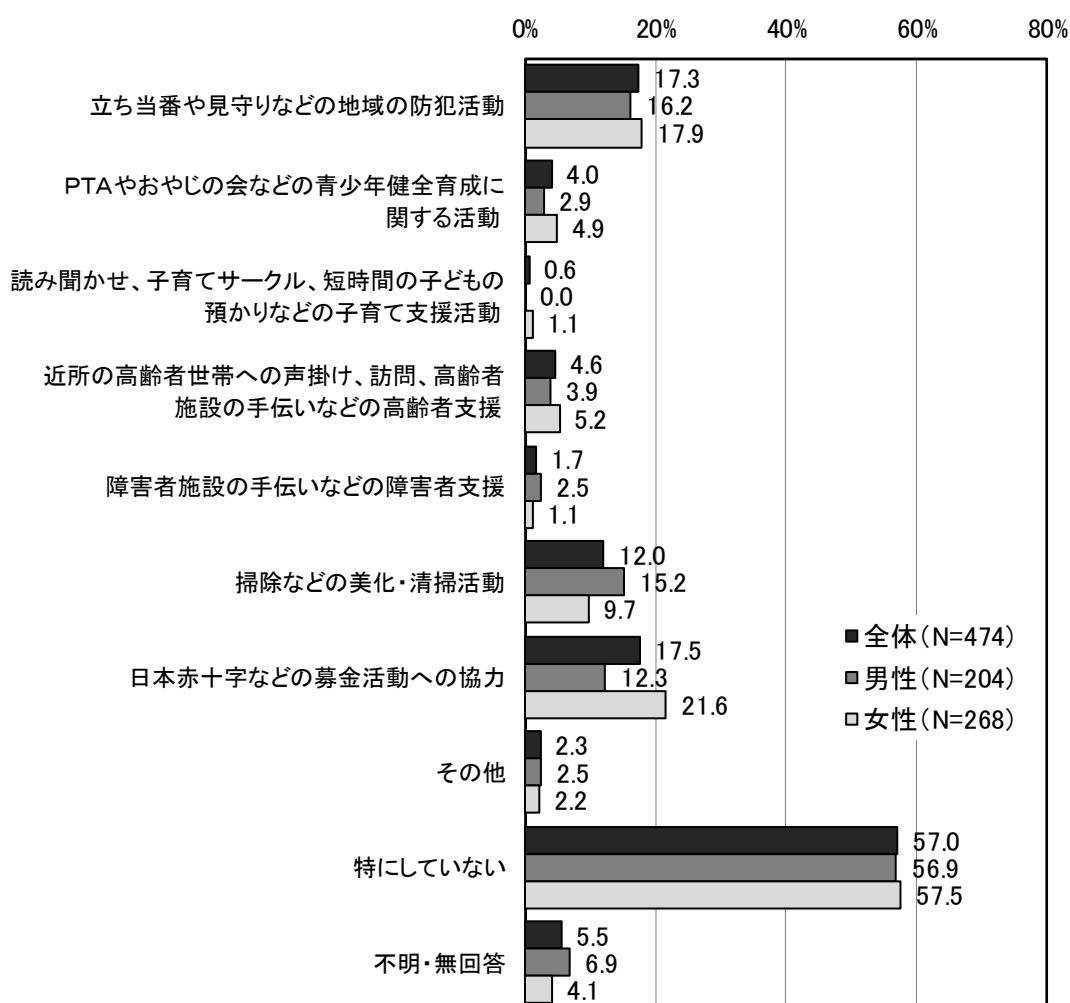
問21 あなたは日頃、以下のような地域の活動や、近所の人へのちょっとした手助けや協力などの助け合いをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「特にしていない」が57.0%と最も高く、次いで「日本赤十字などの募金活動への協力」が17.5%、「立ち当番や見守りなどの地域の防犯活動」が17.3%となっています。

性別でみると、女性で「日本赤十字などの募金活動への協力」が21.6%と、男性と比べて9.3ポイント高くなっています。一方、男性では「掃除などの美化・清掃活動」が15.2%と、女性と比べて5.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で「特にしていない」、40歳代で「PTAやおやじの会などの青少年健全育成に関する活動」、60歳代及び70歳代で「立ち当番や見守りなどの地域の防犯活動」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、新川地区で「立ち当番や見守りなどの地域の防犯活動」、棚尾地区、旭地区及び西端地区で「掃除などの美化・清掃活動」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	立ち当番や見守りなどの地域の防犯活動	P.T.Aやおやじの会などの青少年健全育成に関する活動	読み聞かせ、子育てサークル、短時間の子どもの預かりなどの子育て支援活動	近所の高齢者世帯への声掛け、訪問、高齢者施設の手伝いなどの高齢者支援	障害者施設の手伝いなどの障害者支援	掃除などの美化・清掃活動	日本赤十字などの募金活動への協力	その他	特にしていない	不明・無回答
【年齢別】											
18～19歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	38	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	92.1	2.6
30歳代	52	9.6	1.9	1.9	0.0	1.9	7.7	7.7	1.9	69.2	1.9
40歳代	64	15.6	17.2	3.1	4.7	0.0	12.5	10.9	1.6	56.3	4.7
50歳代	71	16.9	5.6	0.0	5.6	0.0	14.1	18.3	4.2	57.7	2.8
60歳代	84	22.6	2.4	0.0	2.4	3.6	11.9	31.0	3.6	47.6	1.2
70歳代	98	28.6	1.0	0.0	8.2	3.1	17.3	22.4	3.1	43.9	10.2
80歳以上	55	14.5	0.0	0.0	9.1	1.8	14.5	16.4	0.0	52.7	10.9
【地区別】											
新川地区	98	22.4	2.0	0.0	5.1	2.0	8.2	23.5	1.0	55.1	4.1
中央地区	76	10.5	2.6	1.3	1.3	1.3	7.9	13.2	3.9	67.1	2.6
大浜地区	94	18.1	3.2	0.0	4.3	1.1	7.4	18.1	3.2	57.4	4.3
棚尾地区	51	19.6	3.9	2.0	5.9	5.9	21.6	21.6	2.0	51.0	7.8
旭地区	96	19.8	7.3	1.0	4.2	0.0	16.7	14.6	3.1	52.1	9.4
西端地区	53	9.4	5.7	0.0	9.4	1.9	17.0	13.2	0.0	60.4	3.8

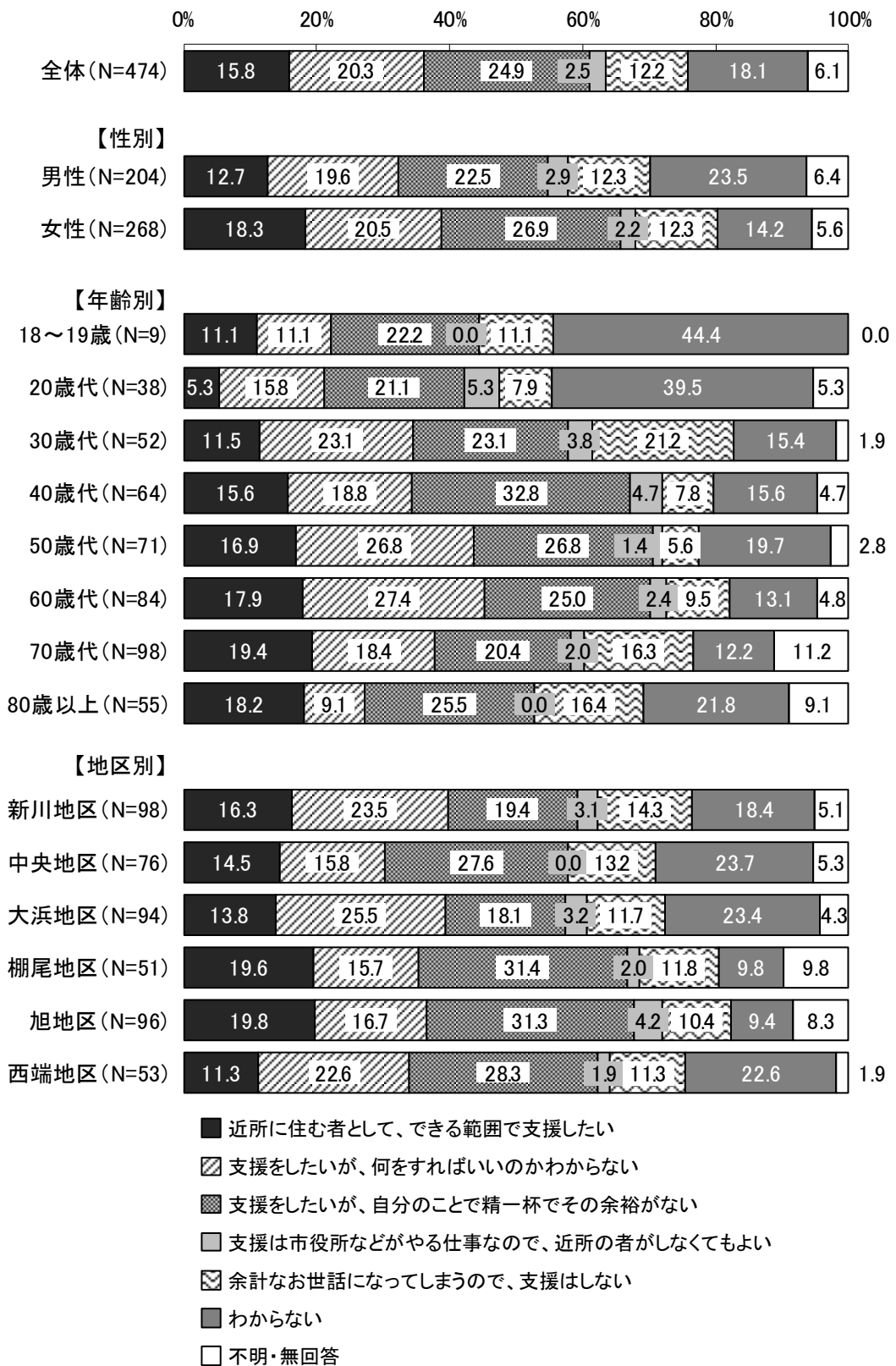
問22 ひとり暮らしの高齢者や、介護・子育てをしている家族など、何らかの支援が必要な方が近所にいる場合、日常生活上の手助けについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

全体では、「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が24.9%と最も高く、次いで「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」が20.3%、「わからない」が18.1%となっています。

性別で見ると、男性で「わからない」が23.5%と、女性と比べて9.3ポイント高くなっています。一方、女性では「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が18.3%と、男性と比べて5.6ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代で「わからない」、30歳代で「余計なお世話になってしまうので、支援はしない」、40歳代で「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、棚尾地区及び旭地区で「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」、大浜地区、新川地区及び西端地区で「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」が、他の地区と比べて高くなっています。



問23 あなたが困ったとき、地域の方からの支援や協力を受けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『受けたい』 …「受けたい」と「どちらかと言えば受けたい」の合算

『受けたくない』 …「どちらかと言えば受けたくない」と「受けたくない」の合算

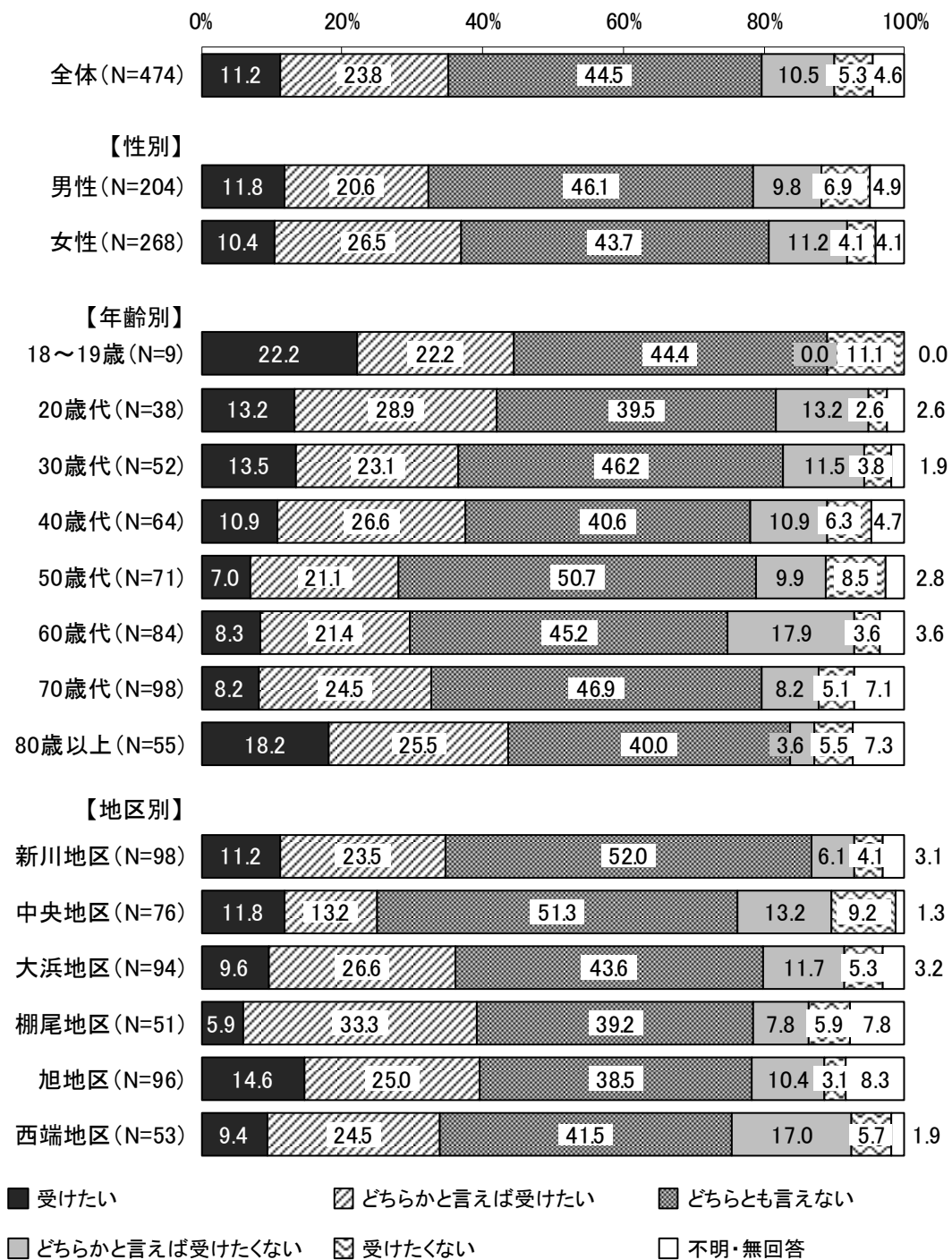
全体では、『受けたい』が35.0%、「どちらとも言えない」が44.5%、『受けたくない』が15.8%となっています。

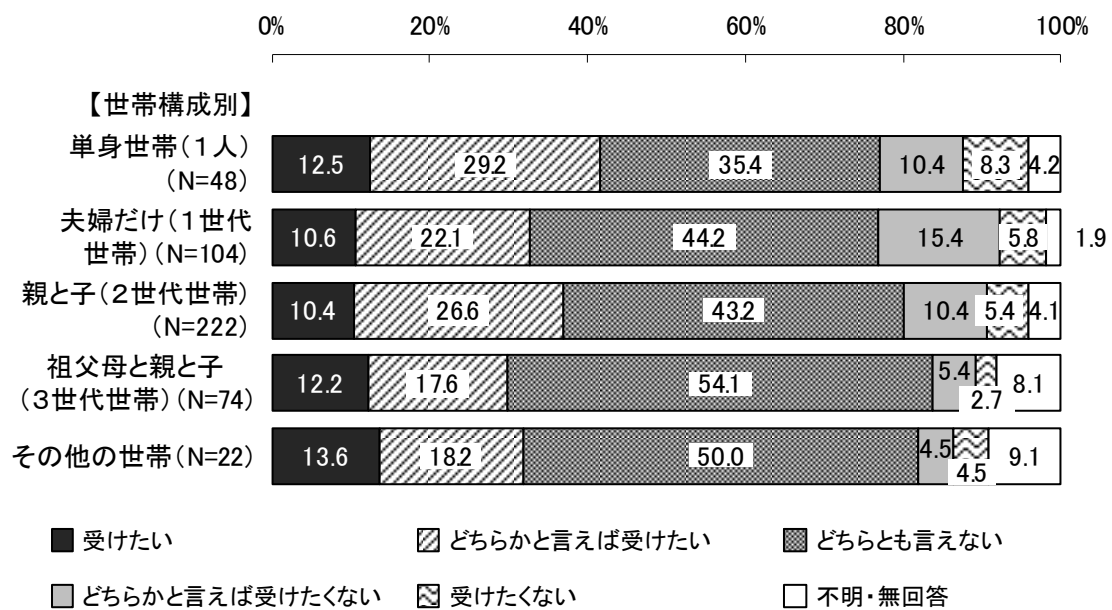
性別で見ると、女性で『受けたい』が36.9%と、男性と比べて4.5ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代及び80歳代で『受けたい』が他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、中央地区で『受けたい』が25.0%と、他の地区と比べて低くなっています。

世帯構成別で見ると、単身世帯(1人)で『受けたい』が41.7%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。





<問23で「1 受けたい」または「2 どちらかと言えば受けたい」と答えた方のみ>

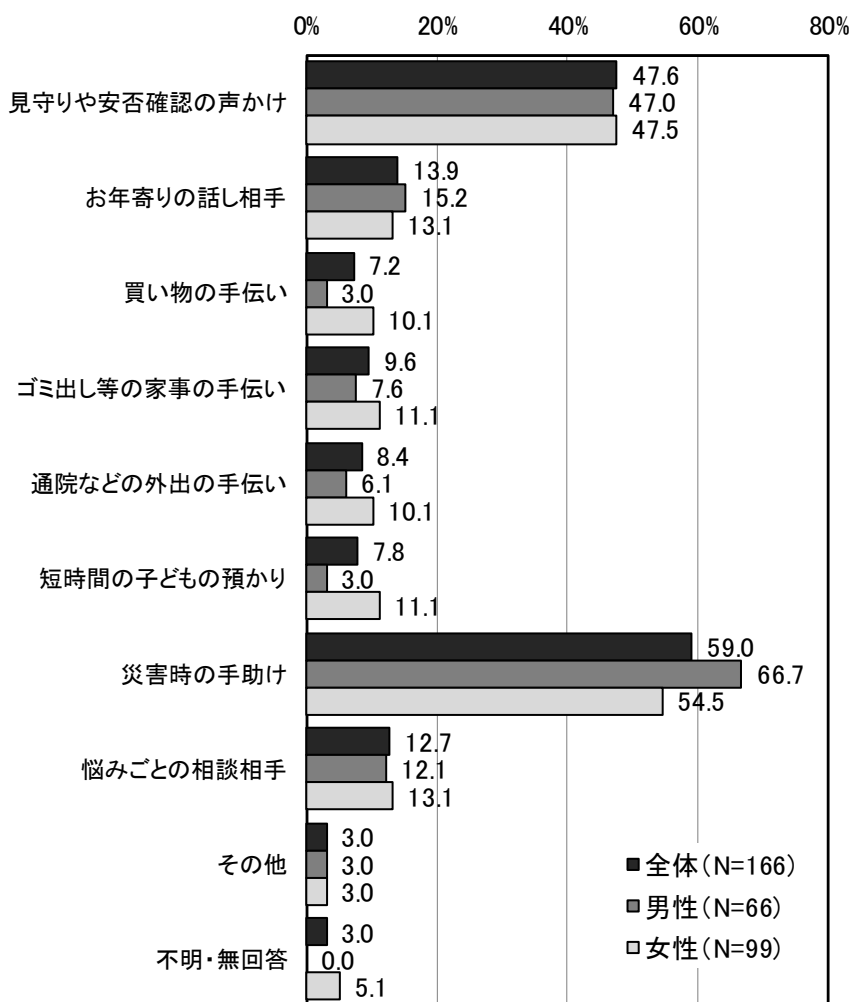
問24 あなたは、生活の中で、近所の人にどのような手助けや協力をしてほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「災害時の手助け」が59.0%と最も高く、次いで「見守りや安否確認の声かけ」が47.6%、「お年寄りの話し相手」が13.9%となっています。

性別でみると、男性で「災害時の手助け」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「短時間の子どもの預かり」「買い物の手伝い」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「短時間の子どもの預かり」、40歳代で「災害時の手助け」、80歳以上で「お年寄りの話し相手」「通院などの外出の手伝い」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、旭地区で「災害時の手助け」、西端地区で「お年寄りの話し相手」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	見守りや 安否確認の 声かけ	お年寄りの 話し相手	買い物の手 伝い	ゴミ出し等 の家事の手 伝い	通院などの 外出の手 伝い	短時間の 子どもの預 かり	災害時の 手助け	悩みごと の相談相手	その他	不明・無 回答
【年齢別】											
18～19 歳	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
20 歳代	16	50.0	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	62.5	6.3	6.3	6.3
30 歳代	19	36.8	5.3	0.0	5.3	5.3	31.6	63.2	15.8	0.0	0.0
40 歳代	24	45.8	12.5	4.2	4.2	8.3	8.3	79.2	12.5	0.0	0.0
50 歳代	20	55.0	20.0	10.0	15.0	15.0	10.0	60.0	15.0	0.0	5.0
60 歳代	25	56.0	16.0	8.0	8.0	8.0	0.0	56.0	20.0	12.0	4.0
70 歳代	32	43.8	9.4	9.4	15.6	0.0	0.0	56.3	6.3	0.0	0.0
80 歳以上	24	54.2	29.2	12.5	16.7	25.0	0.0	41.7	8.3	0.0	8.3
【地区別】											
新川地区	34	47.1	11.8	8.8	8.8	11.8	2.9	61.8	5.9	2.9	5.9
中央地区	19	36.8	15.8	5.3	5.3	0.0	15.8	57.9	21.1	10.5	0.0
大浜地区	34	47.1	11.8	5.9	11.8	0.0	8.8	55.9	14.7	2.9	2.9
棚尾地区	20	55.0	5.0	5.0	5.0	10.0	5.0	45.0	5.0	0.0	0.0
旭地区	38	50.0	15.8	10.5	10.5	15.8	13.2	68.4	18.4	2.6	2.6
西端地区	18	50.0	27.8	5.6	16.7	11.1	0.0	50.0	11.1	0.0	5.6

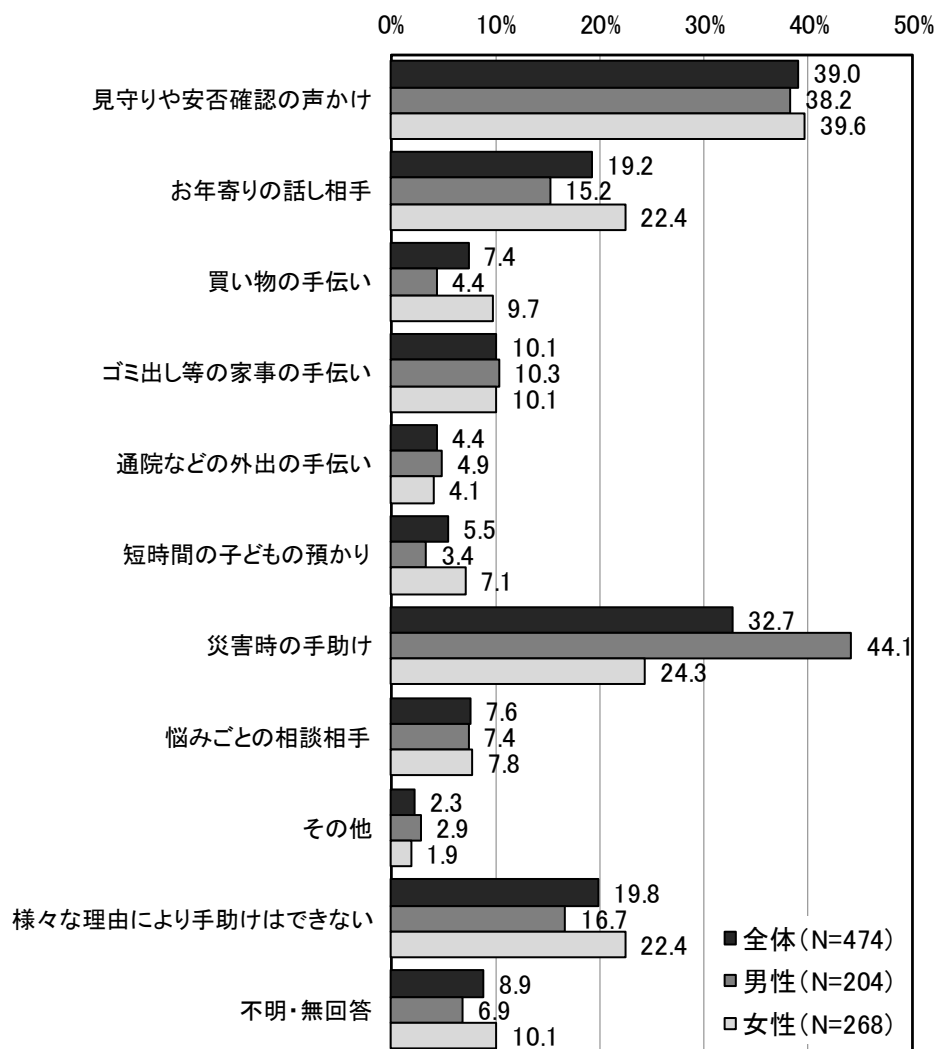
問25 あなたは、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭に対して、どのような手助けができますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「見守りや安否確認の声かけ」が39.0%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が32.7%、「様々な理由により手助けはできない」が19.8%となっています。

性別でみると、男性で「災害時の手助け」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「お年寄りの話し相手」「様々な理由により手助けはできない」「買い物の手伝い」が男性と比べて高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、40歳代～50歳代で「災害時の手助け」、60歳代で「見守りや安否確認の声かけ」、70歳代で「ゴミ出し等の家事の手伝い」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、棚尾地区で「見守りや安否確認の声かけ」、西端地区で「災害時の手助け」が、他の地区と比べて高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	見守りや安否確認の声かけ	お年寄りの話し相手	買い物の手伝い	ゴミ出し等の家事の手伝い	通院などの外出の手伝い	短時間の子どもの預かり	災害時の手助け	悩みごとの相談相手	その他	様々な理由により手助けはできない	不明・無回答
【年齢別】												
18～19歳	9	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	44.4	11.1	0.0	22.2	0.0
20歳代	38	34.2	28.9	10.5	7.9	2.6	7.9	44.7	10.5	0.0	15.8	2.6
30歳代	52	38.5	15.4	9.6	7.7	5.8	13.5	32.7	11.5	0.0	21.2	1.9
40歳代	64	46.9	21.9	7.8	9.4	4.7	6.3	45.3	9.4	3.1	15.6	6.3
50歳代	71	42.3	15.5	5.6	7.0	2.8	8.5	46.5	8.5	1.4	16.9	8.5
60歳代	84	50.0	19.0	8.3	9.5	4.8	3.6	31.0	2.4	3.6	19.0	3.6
70歳代	98	34.7	21.4	6.1	19.4	5.1	0.0	24.5	7.1	2.0	19.4	16.3
80歳以上	55	21.8	16.4	3.6	3.6	5.5	1.8	9.1	5.5	5.5	32.7	18.2
【地区別】												
新川地区	98	37.8	17.3	9.2	10.2	5.1	1.0	36.7	2.0	3.1	19.4	7.1
中央地区	76	35.5	18.4	7.9	7.9	0.0	7.9	22.4	6.6	3.9	25.0	6.6
大浜地区	94	39.4	23.4	5.3	13.8	5.3	5.3	30.9	10.6	1.1	20.2	7.4
棚尾地区	51	49.0	19.6	7.8	7.8	5.9	9.8	33.3	5.9	0.0	15.7	9.8
旭地区	96	42.7	18.8	8.3	10.4	6.3	5.2	28.1	11.5	3.1	21.9	11.5
西端地区	53	32.1	18.9	3.8	9.4	3.8	7.5	52.8	7.5	1.9	13.2	9.4

6 災害時のことについて

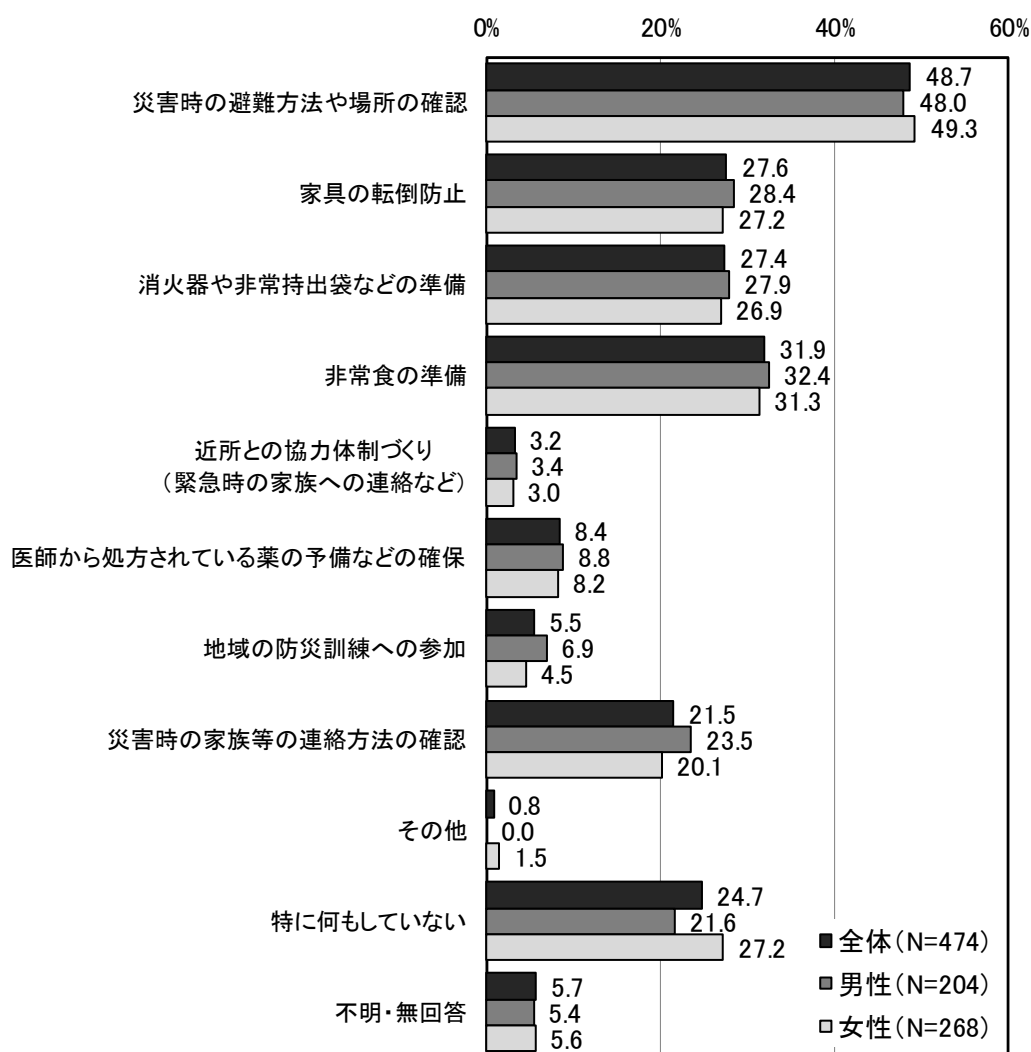
問26 あなたは普段から災害に備えてどのような対応をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「災害時の避難方法や場所の確認」が48.7%と最も高く、次いで「非常食の準備」が31.9%、「家具の転倒防止」が27.6%となっています。

性別でみると、女性で「特に何もしていない」が27.2%と、男性と比べて5.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で「特に何もしていない」が39.5%と、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、いずれの地区も「特に何もしていない」が2割以上、また「地域の防災訓練への参加」が1割未満となっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	災害時の避難方法や場所の確認	家具の転倒防止	消火器や非常持出袋などの準備	非常食の準備	近所との協力的体制づくり緊急時の家族への連絡など	医師から処方されている薬の予備などの確保	地域の防災訓練への参加	災害時の家族等の連絡方法の確認	その他	特に何もしていない	不明・無回答
【年齢別】												
18～19 歳	9	44.4	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	44.4	0.0
20 歳代	38	23.7	5.3	13.2	34.2	0.0	0.0	5.3	26.3	0.0	39.5	2.6
30 歳代	52	50.0	11.5	19.2	32.7	1.9	1.9	1.9	13.5	0.0	30.8	1.9
40 歳代	64	53.1	39.1	39.1	35.9	0.0	4.7	3.1	17.2	0.0	20.3	4.7
50 歳代	71	59.2	35.2	29.6	31.0	2.8	9.9	5.6	31.0	1.4	16.9	4.2
60 歳代	84	53.6	35.7	38.1	36.9	1.2	7.1	7.1	15.5	0.0	17.9	2.4
70 歳代	98	49.0	28.6	24.5	26.5	5.1	15.3	10.2	25.5	2.0	24.5	11.2
80 歳以上	55	40.0	25.5	20.0	27.3	10.9	14.5	1.8	16.4	1.8	32.7	9.1
【地区別】												
新川地区	98	48.0	27.6	23.5	36.7	4.1	8.2	7.1	20.4	0.0	24.5	6.1
中央地区	76	51.3	21.1	31.6	34.2	2.6	6.6	2.6	28.9	0.0	25.0	1.3
大浜地区	94	44.7	30.9	30.9	29.8	2.1	7.4	5.3	13.8	2.1	26.6	4.3
棚尾地区	51	49.0	29.4	31.4	27.5	5.9	11.8	7.8	23.5	2.0	23.5	9.8
旭地区	96	54.2	27.1	24.0	30.2	2.1	11.5	5.2	19.8	0.0	22.9	6.3
西端地区	53	47.2	32.1	26.4	30.2	3.8	3.8	5.7	30.2	1.9	26.4	5.7

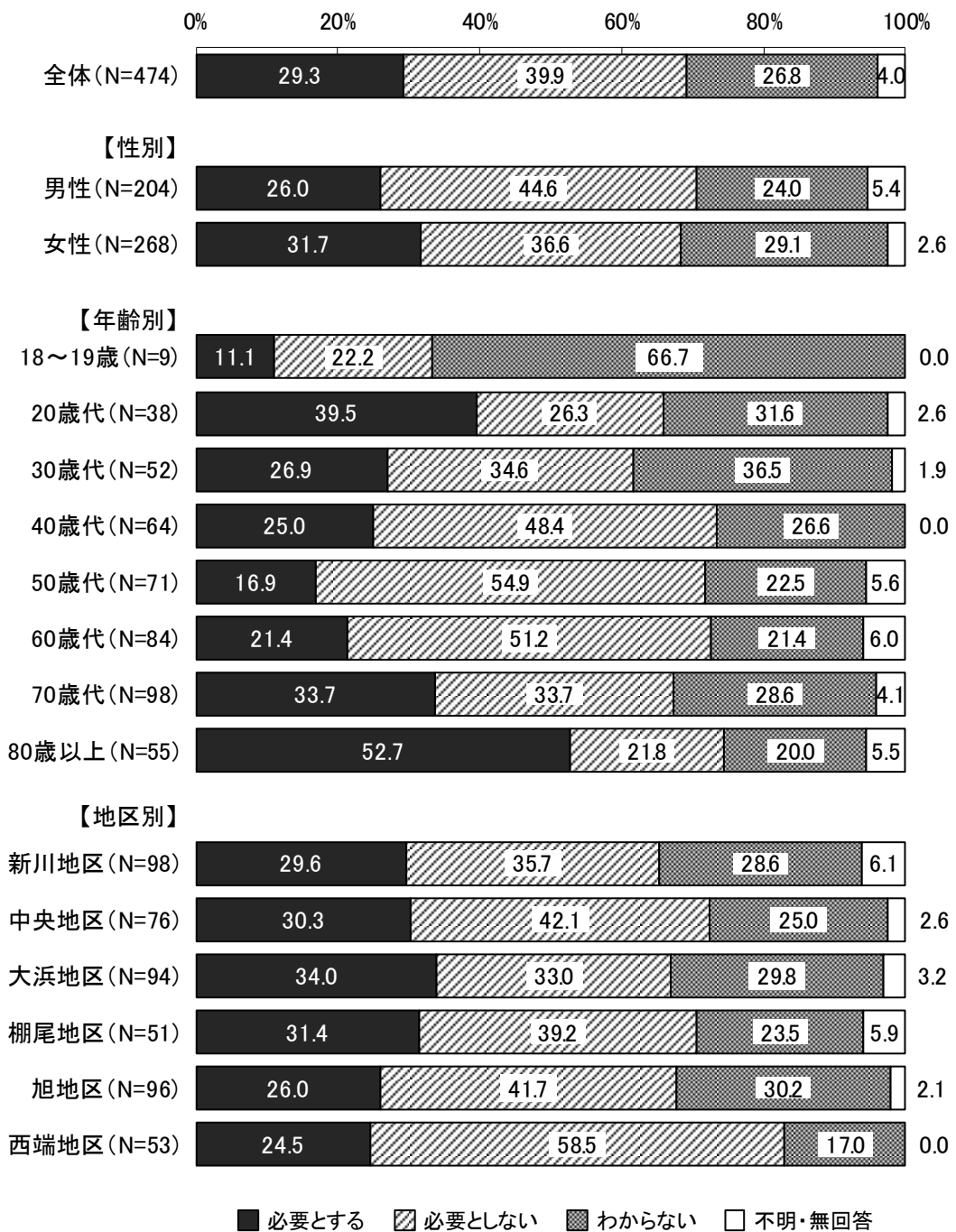
問27 あなたは、地震などの災害発生時に、避難場所までの移動や、災害時についての情報の入手等について、誰かの助けを必要としますか。（○は1つだけ）

全体では、「必要とする」が29.3%、「必要としない」が39.9%、「わからない」が26.8%となっています。

性別でみると、女性で「必要とする」が31.7%と、男性と比べて5.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、50歳以上で年齢があがるにつれ「必要とする」が高くなる傾向がみられますが、20歳代では「必要とする」が80歳以上に次いで高くなっています。

地区別でみると、西端地区で「必要としない」が58.5%と、他の地区と比べて高くなっています。



<問27で「1 必要とする」と答えた方のみ>

問28 あなたは、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。（○は1つだけ）

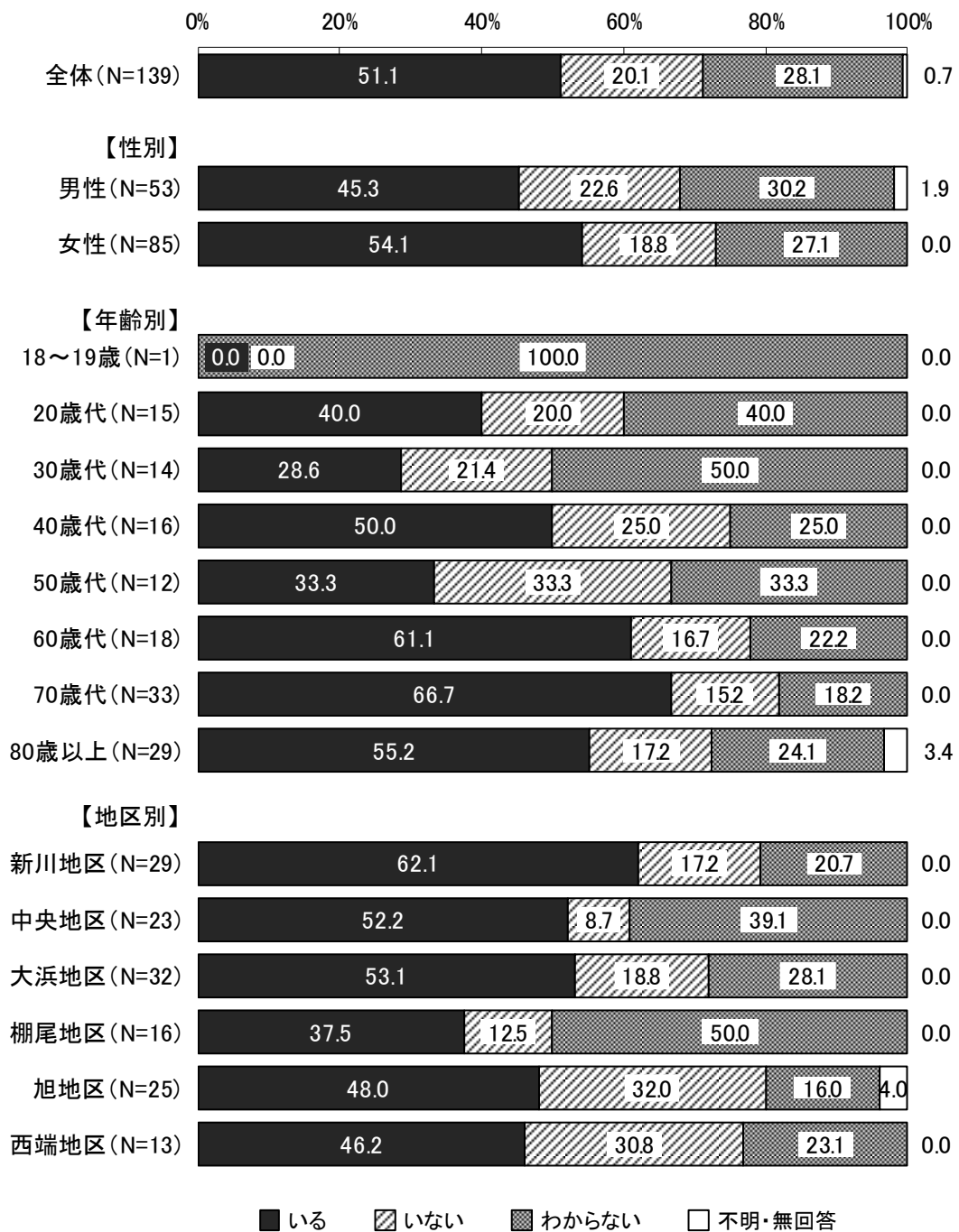
全体では、「いる」が51.1%、「いない」が20.1%、「わからない」が28.1%となっています。

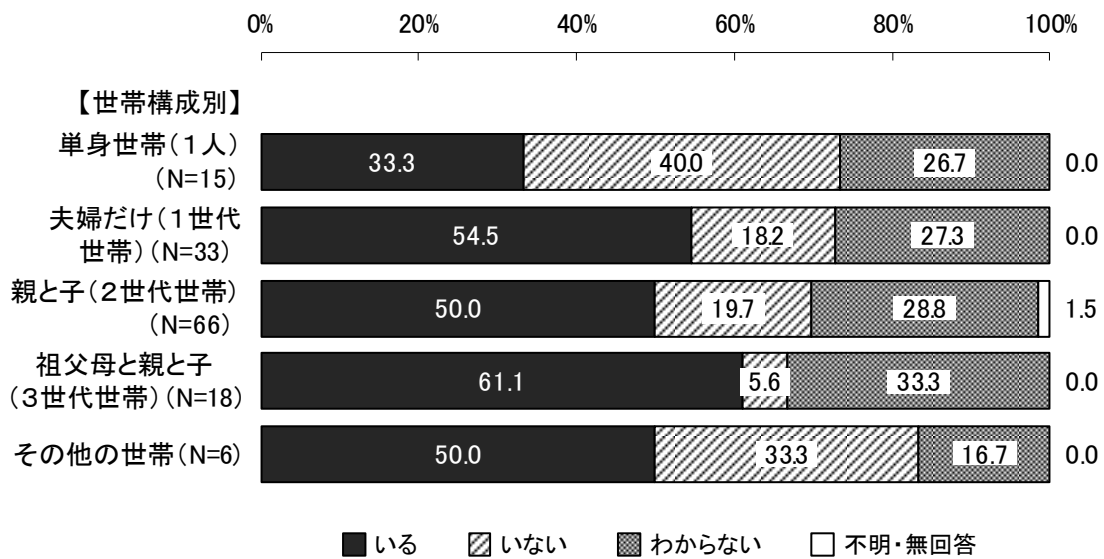
性別で見ると、男性で「いない」「わからない」が女性と比べて高くなっています。

年齢別で見ると、50歳代で「いない」が33.3%と、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、旭地区及び西端地区で「いない」、棚尾地区で「わからない」が、他の地区と比べて高くなっています。

世帯構成別で見ると、単身世帯（1人）で「いない」が40.0%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。





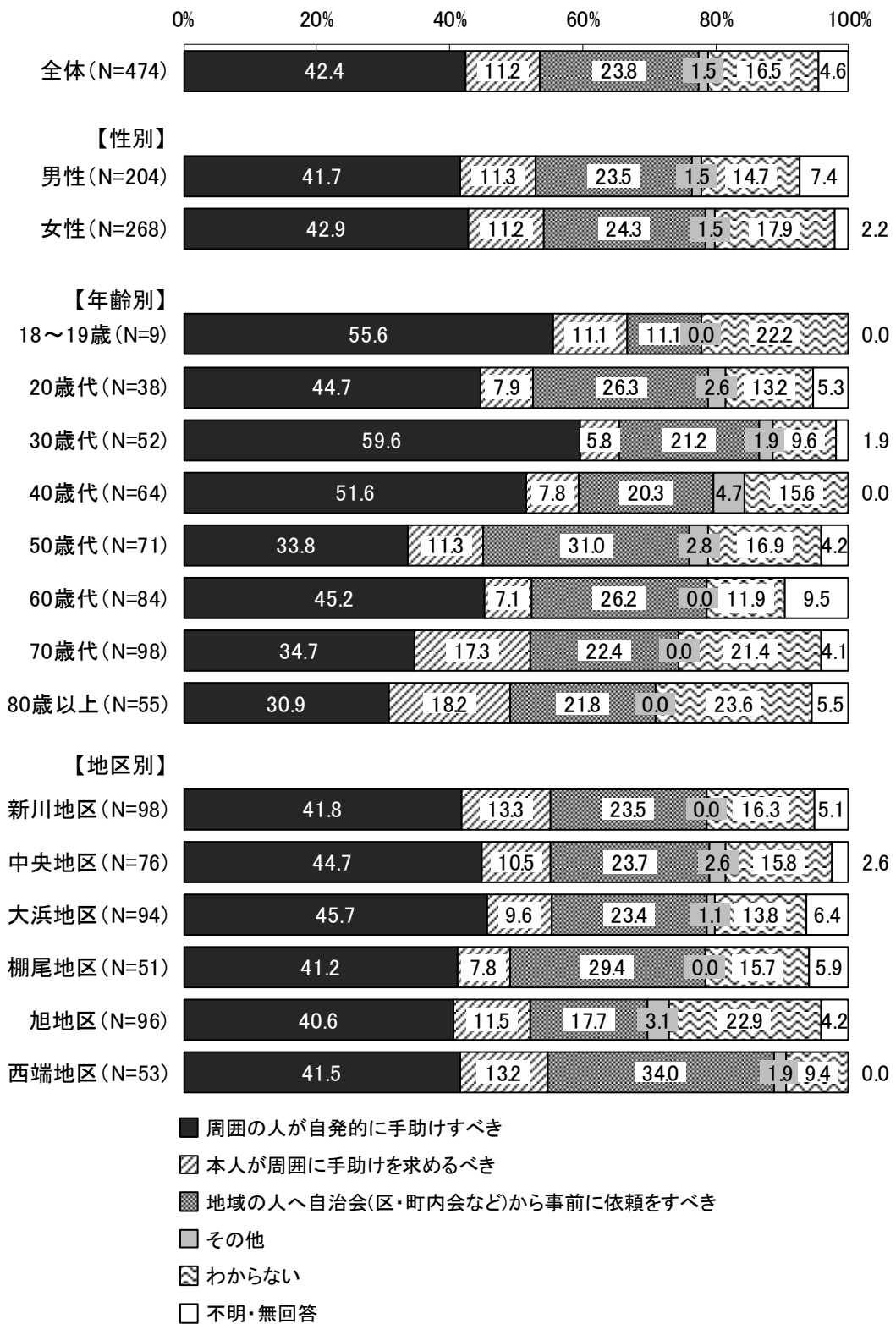
問29 あなたの近所では、自力で避難できない人や安否の不明な人がいたときに、どのような対応があるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「周囲の人が自発的に手助けすべき」が42.4%と最も高く、次いで「地域の人へ自治会(区・町内会など)から事前に依頼をすべき」が23.8%、「わからない」が16.5%となっています。

性別でみると、男女ともに大差はみられません。

年齢別でみると、30歳代で「周囲の人が自発的に手助けすべき」、50歳代で「地域の人へ自治会(区・町内会など)から事前に依頼をすべき」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、西端地区で「地域の人へ自治会(区・町内会など)から事前に依頼をすべき」が34.0%と、他の地区と比べて高くなっています。



7 福祉のまちづくりについて

問30 あなたの碧南市の福祉行政全般について、満足していますか。（○は1つだけ）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

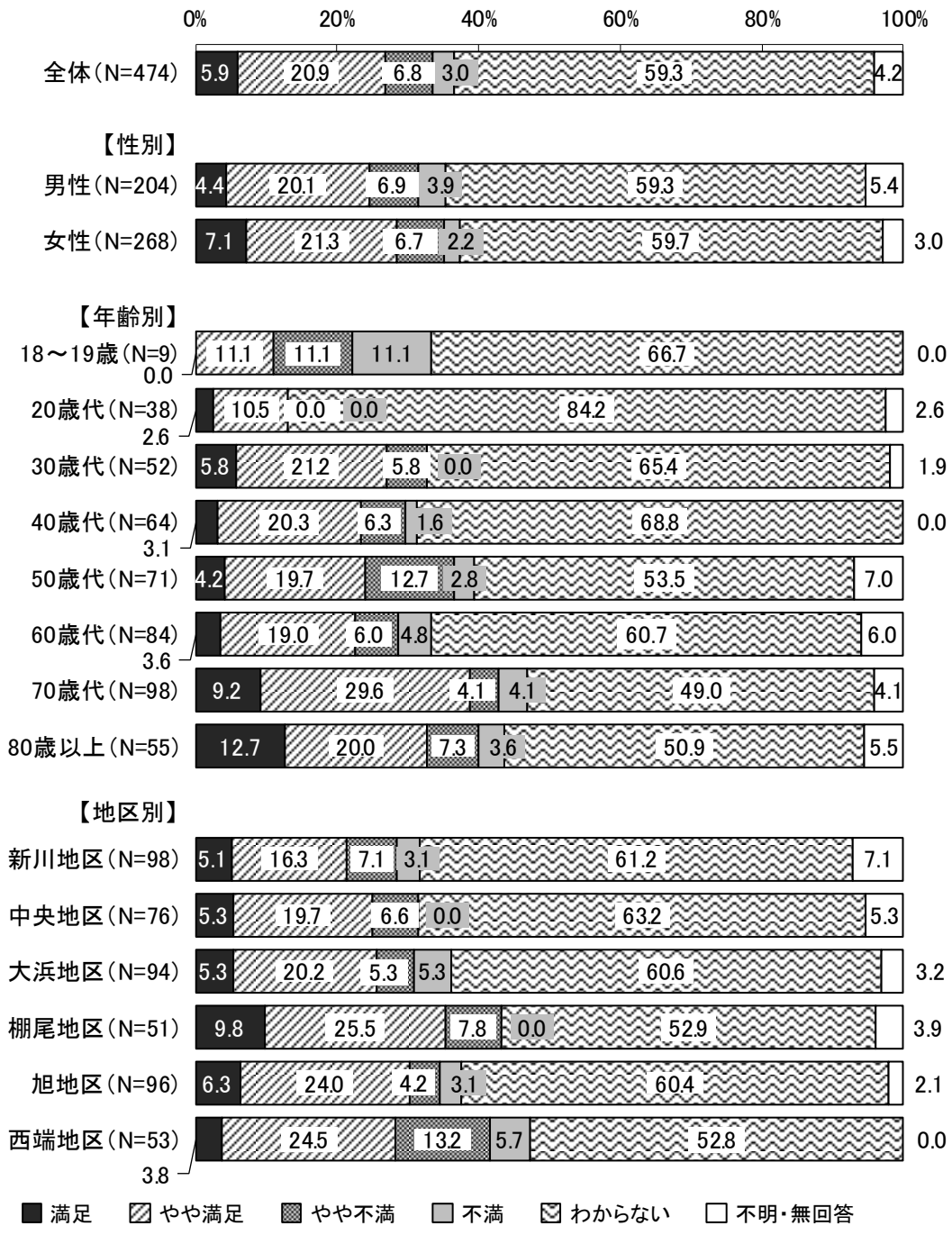
『満足』 …「満足」と「やや満足」の合算
『不満』 …「やや不満」と「不満」の合算

全体では、『満足』が26.8%、『不満』が9.8%、「わからない」が59.3%となっています。

性別でみると、『満足』が男性で24.5%、女性で28.4%となっています。

年齢別でみると、70歳以上で『満足』、50歳代で『不満』が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、棚尾地区で『満足』が他の地区と比べて高くなっています。一方、西端地区では『不満』が他の地区と比べて高くなっています。



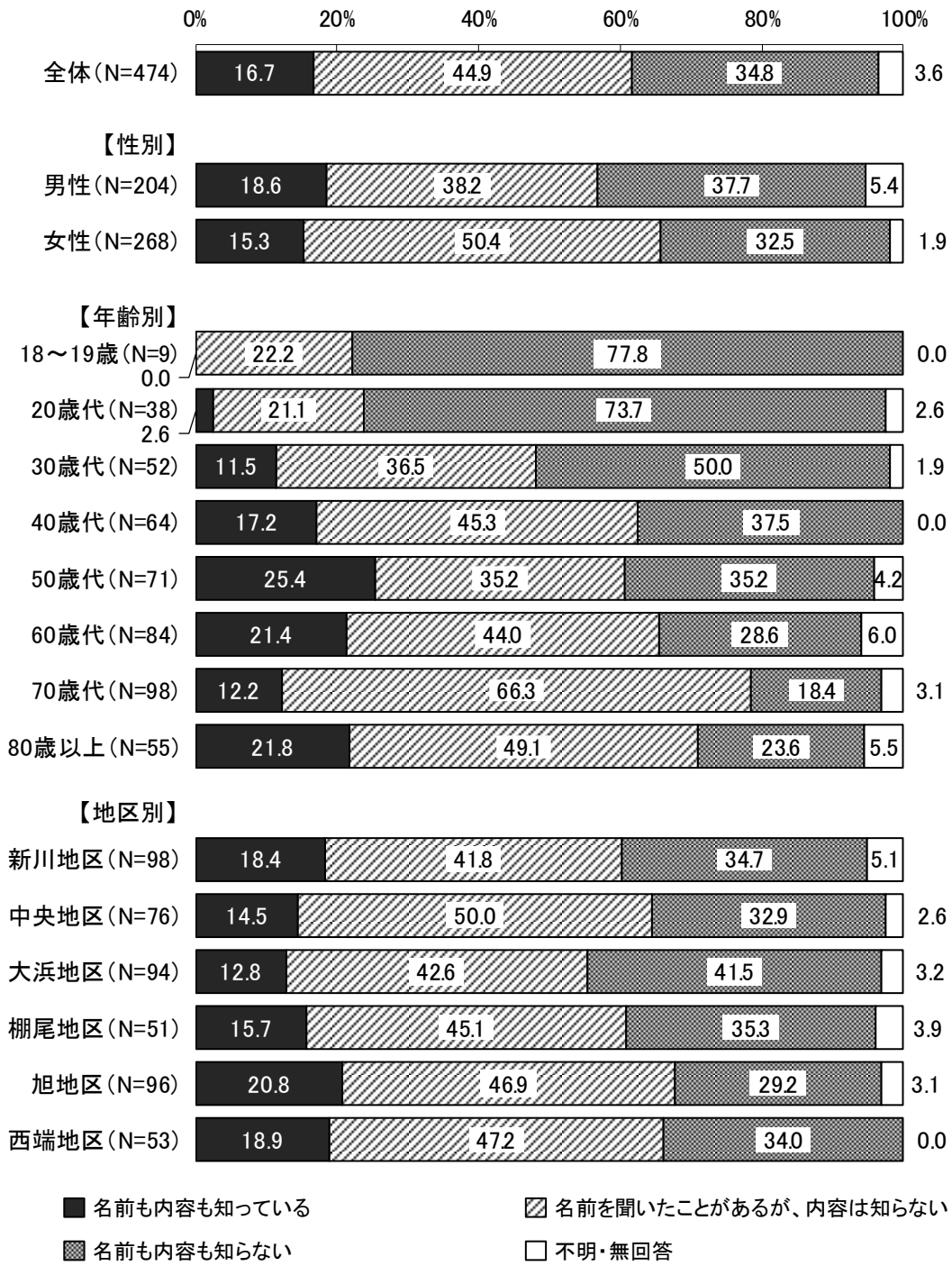
問31 あなたは社会福祉法人碧南市社会福祉協議会をご存知ですか。（〇は1つだけ）

全体では、「名前も内容も知っている」が16.7%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が44.9%、「名前も内容も知らない」が34.8%となっています。

性別でみると、女性で「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が50.4%と、男性と比べて12.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代及び30歳代で「名前も内容も知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、大浜地区で「名前も内容も知らない」が41.5%と、他の地区と比べて高くなっています。



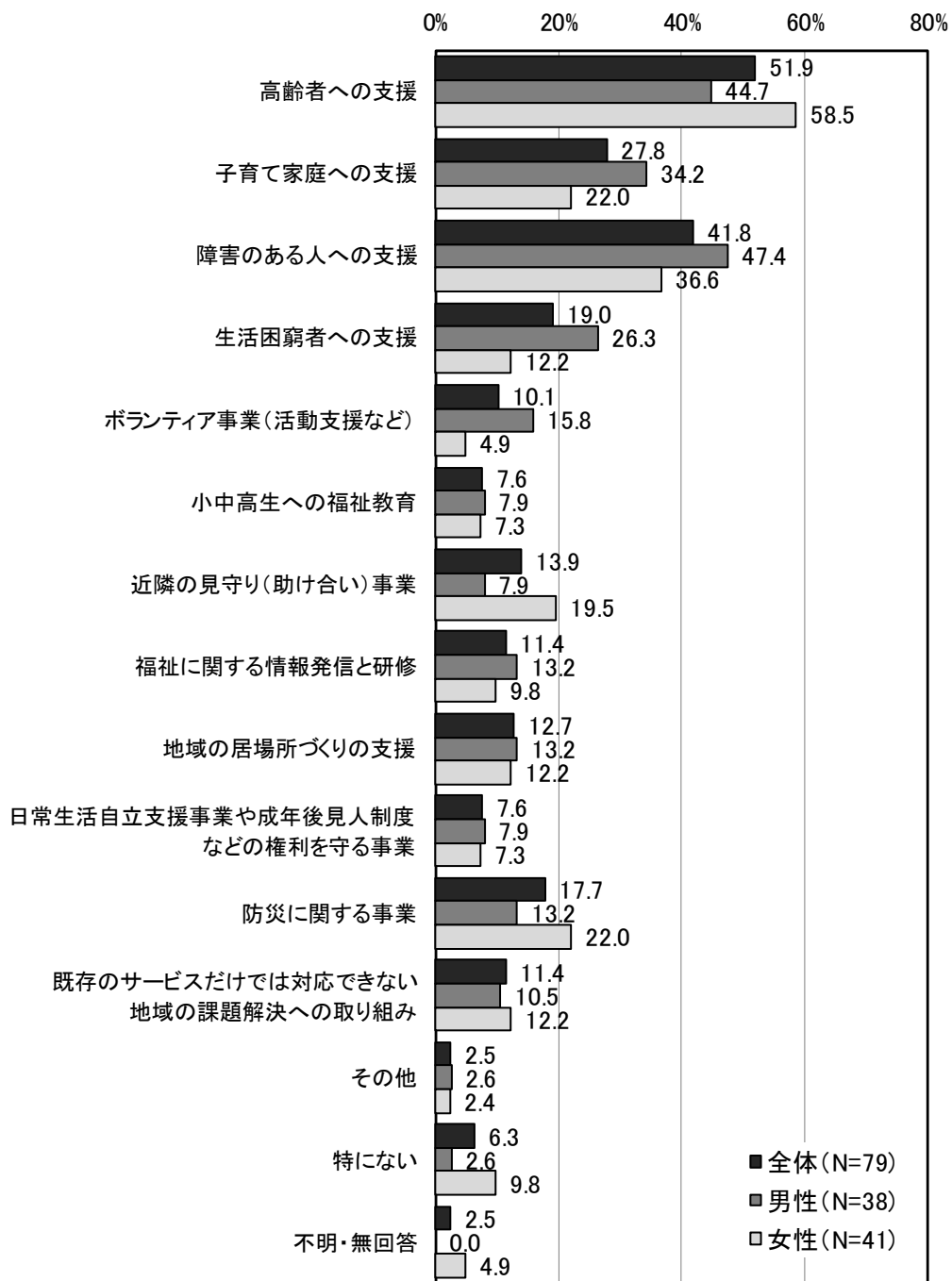
<問31で「1名前も内容も知っている」と答えた方のみ>

問32 あなたは、今後、碧南市社会福祉協議会にどのような分野での役割を期待しますか。（〇は3つまで）

全体では、「高齢者への支援」が51.9%と最も高く、次いで「障害のある人への支援」が41.8%、「子育て家庭への支援」が27.8%となっています。

性別でみると、男性で「生活困窮者への支援」「子育て家庭への支援」「ボランティア事業（活動支援など）」「障害のある人への支援」が女性と比べて高くなっています。一方、女性では「高齢者への支援」「近隣の見守り（助け合い）事業」「防災に関する事業」が男性と比べて高くなっています。

※年齢別、地区別についてはそれぞれ回答者が20人以下のため読取分はなしで、参考としてクロス集計集のみを掲載しています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	高齢者への支援	子育て家庭への支援	障害のある人への支援	生活困窮者への支援	ボランティア事業（活動支援など）	小中高生への福祉教育	近隣の見守り（助け合い）事業	福祉に関する情報発信と研修	地域の居場所づくりの支援	日常生活自立支援事業や成年後見人制度などの権利を守る事業
【年齢別】											
20歳代	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7
40歳代	11	45.5	54.5	45.5	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1
50歳代	18	50.0	16.7	50.0	11.1	5.6	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
60歳代	18	38.9	16.7	33.3	22.2	11.1	5.6	16.7	0.0	11.1	5.6
70歳代	12	66.7	25.0	41.7	41.7	8.3	25.0	8.3	25.0	16.7	16.7
80歳以上	12	66.7	16.7	41.7	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3
【地区別】											
新川地区	18	55.6	11.1	22.2	27.8	0.0	11.1	22.2	5.6	5.6	11.1
中央地区	11	45.5	27.3	36.4	18.2	36.4	9.1	27.3	18.2	9.1	0.0
大浜地区	12	50.0	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	25.0	8.3
棚尾地区	8	37.5	25.0	62.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5
旭地区	20	50.0	30.0	55.0	15.0	10.0	0.0	5.0	25.0	10.0	5.0
西端地区	10	70.0	50.0	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0

区分	N=	防災に関する事業	既存のサービスだけでは対応できない地域の課題解決への取り組み	その他	特になし	不明・無回答
【年齢別】						
20歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
40歳代	11	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
50歳代	18	11.1	16.7	0.0	5.6	0.0
60歳代	18	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6
70歳代	12	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0
80歳以上	12	16.7	8.3	0.0	16.7	8.3
【地区別】						
新川地区	18	27.8	5.6	5.6	11.1	5.6
中央地区	11	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0
大浜地区	12	33.3	0.0	8.3	8.3	8.3
棚尾地区	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
旭地区	20	10.0	15.0	0.0	10.0	0.0
西端地区	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

※年齢別の「18～19歳」については、回答が0であったため、掲載していません。

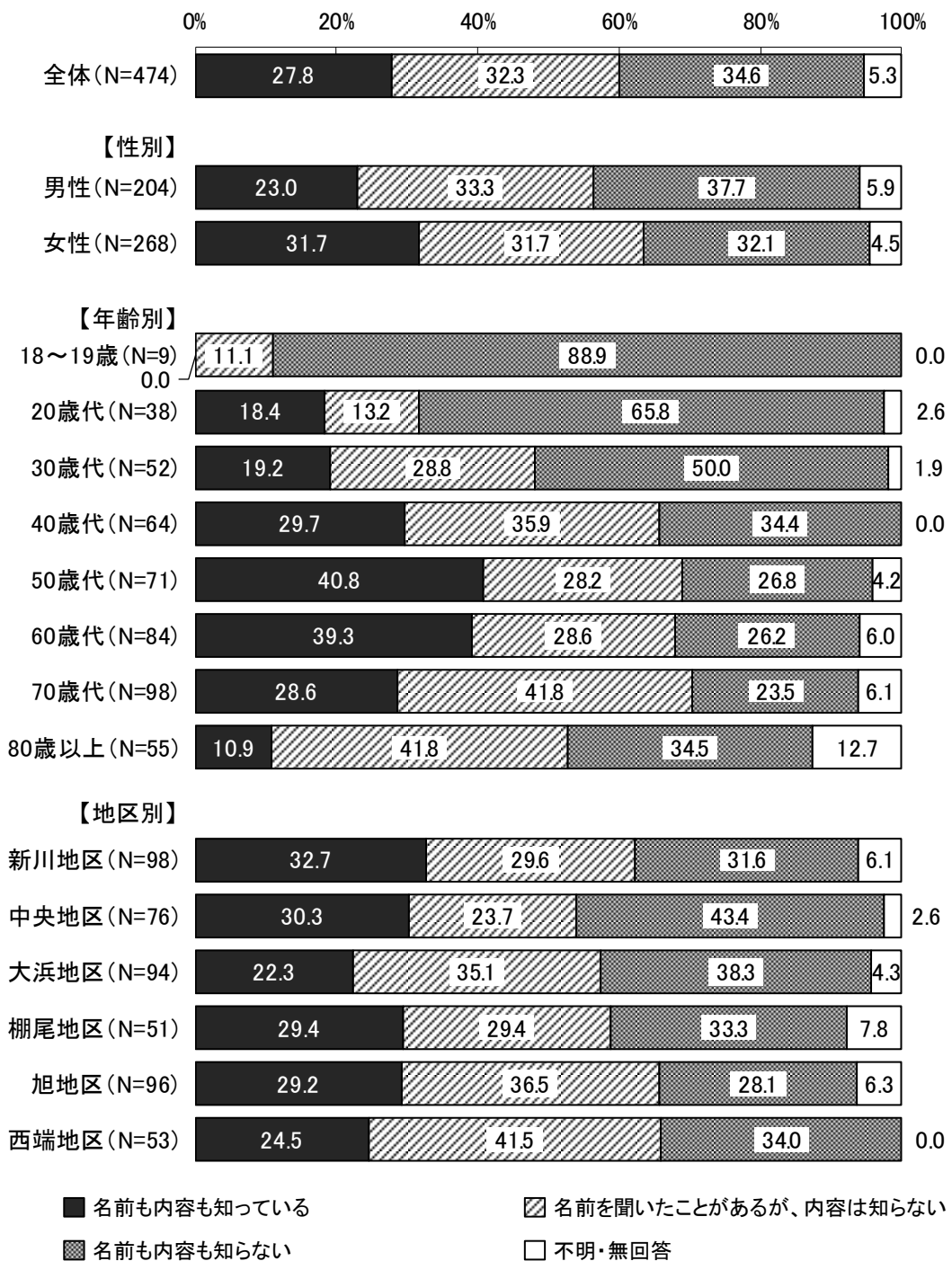
問33 あなたは、成年後見制度についてご存じですか。（〇は1つだけ）

全体では、「名前も内容も知っている」が27.8%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が32.3%、「名前も内容も知らない」が34.6%となっています。

性別で見ると、女性で「名前も内容も知っている」が31.7%と、男性と比べて8.7ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代及び30歳代で「名前も内容も知らない」、50歳代及び60歳代で「名前も内容も知っている」が、他の年齢と比べて高くなっています。

地区別で見ると、中央地区で「名前も内容も知らない」が43.4%と、他の地区と比べて高くなっています。



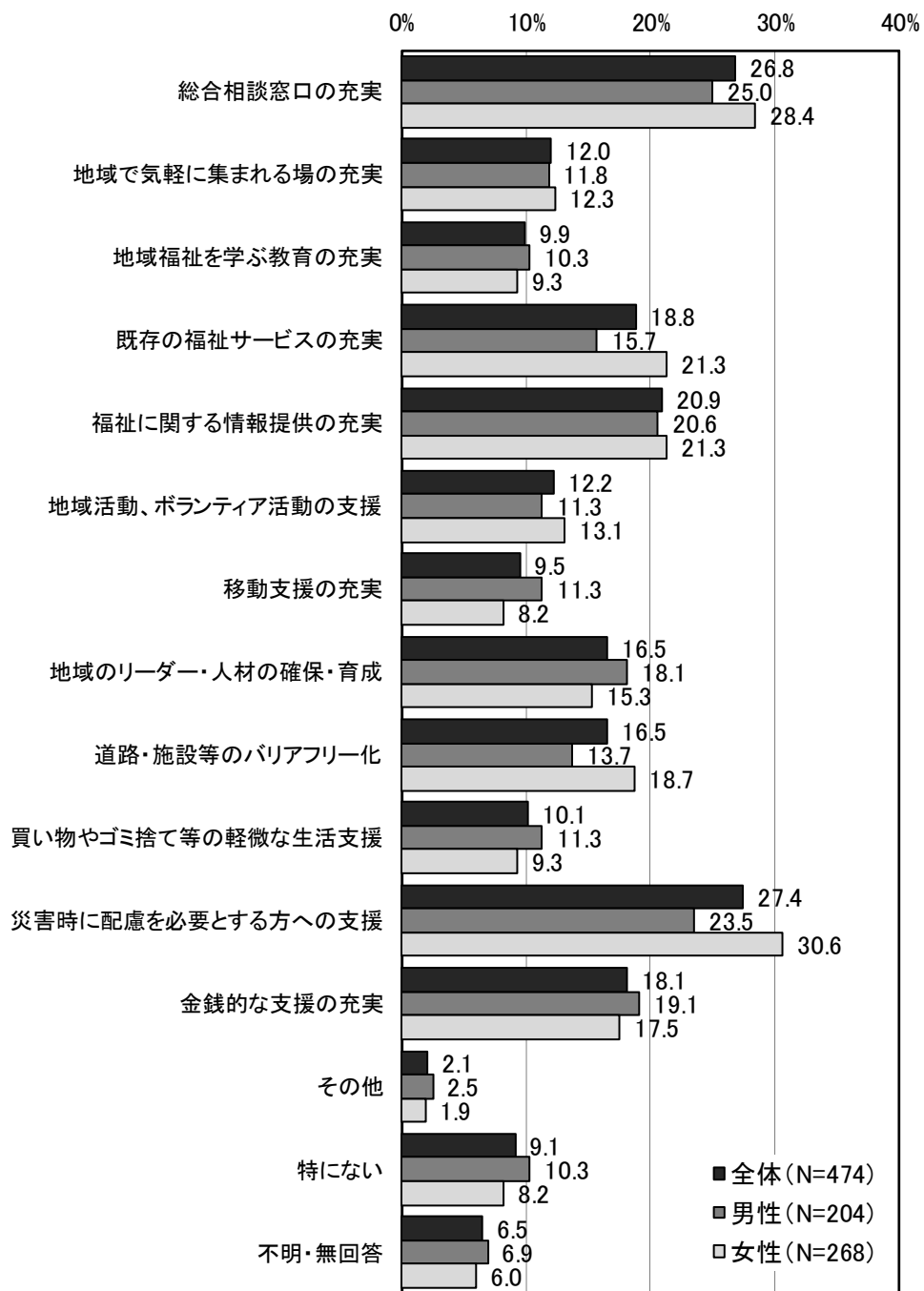
問34 これからの碧南市の福祉全般について、何を重点に取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「災害時に配慮を必要とする方への支援」が27.4%と最も高く、次いで「総合相談窓口の充実」が26.8%、「福祉に関する情報提供の充実」が20.9%となっています。

性別でみると、女性で「災害時に配慮を必要とする方への支援」が30.6%と、男性と比べて7.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20歳代～40歳代では「災害時に配慮を必要とする方への支援」が、50歳以上では「総合相談窓口の充実」が、それぞれ最も高くなっています。

地区別でみると、新川地区、中央地区及び大浜地区では「災害時に配慮を必要とする方への支援」が、棚尾地区及び西端地区では「総合相談窓口の充実」が、旭地区では「福祉に関する情報提供の充実」が、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計集（選択肢単位：％）

区分	N=	総合相談窓口の充実	地域で気軽に集まれる場の充実	地域福祉を学ぶ教育の充実	既存の福祉サービスの充実	福祉に関する情報提供の充実	地域活動、ボランティア活動の支援	移動支援の充実	地域のリーダー・人材の確保・育成	道路・施設等のバリアフリー化	買い物やゴミ捨て等の軽微な生活支援
【年齢別】											
18～19歳	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1
20歳代	38	10.5	2.6	10.5	21.1	23.7	15.8	10.5	7.9	26.3	10.5
30歳代	52	13.5	7.7	9.6	13.5	13.5	11.5	5.8	17.3	13.5	13.5
40歳代	64	25.0	10.9	15.6	25.0	25.0	18.8	10.9	14.1	23.4	9.4
50歳代	71	31.0	8.5	12.7	21.1	15.5	9.9	16.9	26.8	18.3	9.9
60歳代	84	31.0	16.7	6.0	21.4	22.6	14.3	6.0	20.2	10.7	9.5
70歳代	98	33.7	14.3	9.2	20.4	26.5	12.2	8.2	14.3	11.2	12.2
80歳以上	55	32.7	20.0	7.3	9.1	20.0	3.6	9.1	12.7	18.2	5.5
【地区別】											
新川地区	98	28.6	10.2	8.2	22.4	14.3	11.2	12.2	21.4	11.2	11.2
中央地区	76	19.7	9.2	7.9	11.8	25.0	14.5	7.9	19.7	17.1	9.2
大浜地区	94	27.7	13.8	4.3	20.2	19.1	8.5	8.5	6.4	22.3	14.9
棚尾地区	51	33.3	9.8	15.7	17.6	19.6	9.8	9.8	19.6	25.5	7.8
旭地区	96	27.1	14.6	15.6	18.8	29.2	13.5	8.3	20.8	9.4	6.3
西端地区	53	28.3	15.1	11.3	22.6	18.9	18.9	11.3	11.3	20.8	11.3

区分	N=	災害時に配慮を必要とする方への支援	金銭的な支援の充実	その他	特にない	不明・無回答
【年齢別】						
18～19歳	9	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0
20歳代	38	34.2	18.4	0.0	13.2	5.3
30歳代	52	28.8	21.2	3.8	17.3	3.8
40歳代	64	31.3	28.1	1.6	6.3	3.1
50歳代	71	29.6	21.1	2.8	1.4	5.6
60歳代	84	23.8	17.9	2.4	6.0	9.5
70歳代	98	21.4	10.2	2.0	9.2	7.1
80歳以上	55	27.3	9.1	0.0	14.5	9.1
【地区別】						
新川地区	98	33.7	14.3	1.0	7.1	8.2
中央地区	76	28.9	22.4	3.9	9.2	5.3
大浜地区	94	29.8	16.0	2.1	7.4	8.5
棚尾地区	51	25.5	19.6	0.0	3.9	5.9
旭地区	96	19.8	18.8	3.1	13.5	5.2
西端地区	53	26.4	20.8	1.9	9.4	0.0

へきなん地域福祉ハッピープラン策定に関するアンケート調査

【結果報告書】

発行年月 令和2年 9月
発行 碧南市
編集 碧南市福祉こども部 福祉課
〒477-8601 愛知県碧南市松本町28
電話：(0566)95-9884 (直通)
F A X：(0566)48-2940